

## 1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比で97.7%、前々年比で22%である。前々年を基準にすると、前年5月は前年比3.3%であったものが、8月は22%まで上昇しており、その分人出が増えていると考えることができる。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・ワクチン接種率の上昇や自粛疲れなどにより、前年の夏よりも客が活動的になっている。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・お盆期間を中心に帰省客、観光客が前年より多くみられ、お盆商戦が盛り上がった。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・8月は気温が高く、晴れの日が多いなど、天候が良かったことから、景気はやや良くなっている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・コロナ禍のなかではあるが、当地と関西を結ぶ新規LCC航空路線が7月に就航したことで、航空路線の供給座席数が前年と比べて大幅に増加している。7月の航空機利用者数は前年比180%、前々年比約50%となっており、人の動きが活発になっている。個人観光客や帰省客などの回復が大きな要因となっている。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが全国的な拡大傾向にあるものの、想定以上に観光や余暇を楽しむ国内需要があり、当施設もコンスタントに利用されている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上のいずれも増えている。前年の夏と比べて客の動きは活性化している。緊急事態宣言が発出されても、一定の生活パターンで過ごす動きが定着しつつある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来街者数の減少傾向が緩和しつつあったが、新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増え、緊急事態宣言が発出される状況になったことで、ここ数日の来街者数は大きく減少している。このままでは商店街も廃業や閉店が増えることが懸念される。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることで、平日の来街客が前月よりも減少している。特に月曜から木曜にかけての来街者はまばらであり、買物袋やエコバッグなどを携行している客も少ない。また、他都府県や他都市からの車両が散見されるものの、宿泊、飲食、土産などの関連業種において、売上がアップしている様子はみられない。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言へ移行したため、持ち直しの兆しがみえた来客数や買上客数などの指標が軒並み減少している。緊急事態宣言解除後もこの傾向が続くことが見込まれるため、景気回復はまだ先のこととなる。
		百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、お盆過ぎから来客数が減少している。ワクチン接種が終わった年配客の来店が少しずつ戻りつつあったが、再びブレーキの掛かった状態となった。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言の発出と続いていることから、外出するための衣料品、学校行事や社会行事のための買物について需要が上向いてこない。食品の売上は好調だが、これは従来の外食需要がスーパーに流れてきたものであり、社会全体でみればトレンドが上向いているわけではない。
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・今年のお盆商戦は、前年と同様に帰省自粛や行動自粛の影響がみられたことから、都市部の店舗は好調だったものの、例年帰省客でにぎわう地方の店舗は苦戦気味であった。また、売上のピークが特定の日に集中するのではなく、期間を通して平準化する傾向もみられた。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月27日に緊急事態宣言が発出されることになったため、客足がますます悪くなるとみられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月は残暑が厳しかったせいか、夏物家電がよく売れた。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・2～3か月前と比べて、売行きは余り変わらないが、8月はお盆休みがあり、稼働日が少ないため、販売台数自体はやや減少している。ただ、販売目標は達成できているため、会社としては問題なく推移している。
		自動車備品販売店（店長）	お客様の様子	・来客数の動きや買物の様子などをみても、特に大きな変化はみられない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、旅行する機運が上向いてこない。まずはワクチン接種率の向上が鍵となる。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策に右往左往している。経済活動という点では客がある程度コロナ慣れしてきている面はあるが、業績は低めで安定した推移となっている。
		通信会社（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言下であっても、都市部、地方を問わず大型商業施設や大手ドラッグストア、スーパーへの客足は変わっていない。それらの施設での出張イベントにおいても1か月前と同程度の集客を維持できている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の様子をみると、景気が少し悪いと言っている客が多い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候が不安定なことから、果実の作柄が悪くなっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の影響を受けている。帰省や外出、旅行の自粛がみられ、夏休みやお盆であっても最低限の行動しか取らない人が多くなっている。客単価の高い年配客、団体旅行客はほぼゼロである。来客数が全体的に減っていることで、売上にも響いている。
		スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの第5波の影響により、盆の入りから客足が落ち始めた。さらに、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行したことで広域商圏の当店の客足はますます落ち込んでいる。
		スーパー（従業員）	来客数の動き	・前年は新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数が大幅に減少したが、今年は前年を上回る落ち込みとなっている。また、前年は客単価の上昇によって売上が増加したが、今年は客単価も前年を下回っている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・確実に悪い方向に転じている。緊急事態宣言が発出されたことなどから客が出歩いておらず、観光需要も落ち込んでおり、消費が停滞している。営業時間の短縮や飲食店の休業といった動きも出ており、プラスとなるような要素がみられない。さらに、漁業や農業も良い状況ではないため、客の行動や消費が冷え込んでいることを実感している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置が要請され、その後、緊急事態宣言の発出へと移行しており、酒類の販売抑制への協力依頼が続いている。今年の夏は気温が高いことから、売上が若干回復傾向にあったが、8月に入り急落している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車発表の効果もあり、新車の受注量は上向き傾向にあるが、半導体不足の影響が相変わらず続いており、そこに追い打ちを掛けるように新型コロナウイルスの感染が拡大したことで部品供給も停滞しつつある。生産台数が減産となっていることで、売上に結び付かない状況となっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が過去最高を記録したことなどから、客の動きが悪く、受注件数が前年よりも減っている。新車の生産にも遅れが生じていることから、売上に大きな影響が生じている。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・国民の疲弊が顕著になってきている。当店の客の大部分はワクチン接種を終えているが、様々な制約によってストレスが限界にきている。購買意欲も落ち込んできている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の影響で販売量が低調に推移している。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・売上は前々年の3割前後と悪い。東京オリンピック開催による影響はほとんどみられなかった。まん延防止等重点措置の適用に伴って自粛しながら営業を続けており、ランチを中心に悪くない状況にあったが、8月下旬から緊急事態宣言が発出されたことで休業を決めたため、大きく落ち込むことが見込まれる。また、売上が落ち込んでいたことから、ディナーのスタッフを削っていたが、振り客が重なり料理の提供時間が遅れてしまい、その結果、客の不満感が募り、ますます客が減るといった悪循環がみられた。公的施設の食堂を経営する友人から聞いた話では、職員の昼食について外食や食堂の利用を控える指示が出ており、売上が減少しているとのことであった。
		高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響に加えて、主要産業の事業所撤退に伴って急速に人口が減少しており、地域全体に活気がなくなっている。
		旅行代理店 (従業員)	来客数の動き	・3か月前も緊急事態宣言の期間中であったが、8月は今までにない感染拡大のせいか、来客数は1日1組程度にとどまっている。予約の取消しや払戻しも多くなっており、新規予約も減っている。
		旅行代理店 (従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言の影響で需要が見込めないため、景気はやや悪くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の対象区域となったことで、特に夜間の利用客が減少している。日中についても、買物などの外出での利用が少なくなっており、景気はやや悪くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・コロナ禍のなか、北海道の新規感染者数が増加している状況にあることから、人の動きも飲食店の動きもみられない。当業界にとっては非常に厳しい状況に追い込まれている。
		美容室 (経営者)	来客数の動き	・ここ3か月の状況を見ると、客単価は変わらないものの、来客数が少しずつ減少している。
		美容室 (経営者)	それ以外	・再び緊急事態宣言が発出されたこともあり、景気はやや悪くなっている。
		その他サービスの動向を把握できる者 [フェリー] (従業員)	来客数の動き	・首都圏などで緊急事態宣言が発出されたことから、観光客が減少しており、それに伴って当社の輸送量も落ち込んでいる。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・想像していたとおり、東京オリンピック終了後の新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えていることから、景気のムードが非常に悪くなっている。
	×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に変わったことで、中心部の人出がますます少なくなった。夏のセールも不調に終わり、売れ残りが怖く仕入れができなくなっている。緊急事態宣言の解除が見通せる状況ではないため、商売の展望も描けない。1年半にも及ぶ自粛によって、そろそろ商売の終えんを迎える店舗が増えてくるのではないかと懸念している。ワクチン接種がある程度進んだ後は、重症者が少ないのであれば行動制限を解除するなどして、経済を回すようにしないと店舗は再起不能になる。その勇気を以って、感染対策に臨んでほしい。
	×	一般小売店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の対象地域に指定されたことから、主力商材である酒類の売り先が全くとっていきらいなくなっている。売上は壊滅的な状況となっている。
	×	百貨店 (売場主任)	販売量の動き	・東京オリンピック終了後、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と反比例する形で売上が減少している。自粛疲れによって、若者を中心に人の動きが活発になっている傾向もみられるが、年配客についてはワクチンを接種した後も動きが元に戻っていない。
	×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・例年であれば、お盆休み後から新車販売が動き始めるが、今年はそうした動きが余りみられない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・観光シーズンに入った当初は観光客の入込が増えていたため、景気が良くなりかけていたが、変異株を中心に新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたことから、客の動きが悪くなっている。また、北海道に緊急事態宣言が発出されることが決まったため、これからはどんどん景気が悪くなっていく。
	×	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出に伴って、事業所の休業、店舗の営業時間短縮などの動きがみられるようになっている。観光客の動きも完全に止まっており、厳しさが一層増している。市内客の動きも鈍く、来客数の減少により、売上は大きく減少している。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・途中で営業を休止したため、何とも言いようがないが、8月もスタートから余り良くはなかった。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今年はGo To Travelキャンペーンなどの施策もないため、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた前年と比べても宿泊予約が大きく減少している。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が相次いでいることもあり、夏の観光シーズンにもかかわらず壊滅的な状況となっている。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・Webを經由した個人宿泊商品の販売に注力しているが、集客状況は極めて悪い。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・東京オリンピックを終え、全国的に新型コロナウイルスの感染が広がっている状況にあるため、悪くなっている以外にない。北海道に緊急事態宣言が発出されたこともマイナスである。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置、その後の緊急事態宣言で人の移動を抑制しているため、タクシーの利用は6～7月と比べて減っている。特にアルコールの提供禁止、飲食店の営業時間の短縮などが要請されているため、夜のタクシー利用が極端に減少している。売上は前年から20%の減少となっており、コロナ禍前の前々年からは60%の減少と大幅な減収となっている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・全国各地でまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の対象地域が広がり続けていることから、夜間の人出は一層少なくなっている。観光客の入客も7月末からお盆まででピークが過ぎるなど、例年と比べて期間が短かった。地域内の経済状況はますます厳しくなっており、住民の購買意欲にも影響を及ぼしている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴って8月27日に緊急事態宣言が発出され、外出自粛が要請されているほか、夜の街関連の店舗では時短営業が要請されていることから、客の外出がますます減っている。それに伴ってタクシーの稼働も落ちている。
企業 動向 関連  (北海道)		輸送業（支店長）	取引先の様子	・実感はないが、ここに来て当社の取引先の多くで2021年度の売上見込み、利益見込みを上方修正しており、全般的には景気がやや改善している兆しがみられる。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年と比べれば景気は多少良いが、コロナ禍前との比較では1割ほど受注量が減っている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・8月の受注量は前年並みかややプラスになっているが、前年はコロナ禍の影響で落ち込んでいたため、特に景気が良くなっている状況ではない。
		建設業（従業員）	取引先の様子	・前年と比べると、業務量が50%程度に減少している。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・荷動きについてみると、一般雑貨のトレーラーは少し動きが出てきている。生乳は本州サイドでの生産が順調なことに加えて、消費が伸び悩んでいることもあり、北海道からの送り込みが相当減少している。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・ワクチン接種が進展しているにもかかわらず、道内の新型コロナウイルス感染者数は高止まりしており、まん延防止等重点措置によって経済活動も抑制されている。このため、道内景気は緊急事態宣言が発出されていた3か月前と変わらない状況にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		司法書士	それ以外	・自粛要請が出ているにもかかわらず、お盆期間中には県外ナンバーの車が大量に走り回っており、どこの観光地もそれなりに人がいた。観光地に人が来なければ経済が回らないが、人が来れば新規感染者数が増えることになる。今のところ、当地の経済に大きな影響は出ていないが、大都市を中心に緊急事態宣言の発出が予定されており、地方にも影響が広がっていくことが懸念される。今後の景気は少しずつ悪くなるとみられる。
		その他サービス業 [建設機械レンタル] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・当社の売上は引き続き前年から5%程度増加して推移している一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からないことから、業種によっては厳しさが続いている。全体としては横ばい傾向が続いている。
		その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)	取引先の様子	・客先における設備投資の状況は変わっていない。
		その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)	受注量や販売量の動き	・スポット的な受注案件は増えているが、最近ベース商材の動きが落ち着いており、市場全体では静かな動きとなっている。
		建設業 (役員)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴って3度目の緊急事態宣言が発出された。直接的な影響は出ていないものの、新規建築案件の引き合いは依然として少ないままである。こうしたなか、受注競争による利幅縮小、建設資材価格や人件費の単価上昇が顕在化してきた。年度計画を達成できるだけの工事をまだ確保できていないこともあり、景気はやや悪い。
		通信業 (営業担当)	取引先の様子	・足元の企業や取引先では新型コロナウイルス感染拡大の影響を想定以上に受けている。ここ数日、経済活動の停滞と業績への下押しの圧力を特に感じている。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の対象地域が拡大していることで、自粛の動きがみられる。人流抑制などの要請を受けて営業活動を自粛する企業も多く、それによって経済が停滞するという悪循環が続いている。不動産取引においても営業自粛に伴って成約が減少している。
	x	家具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響している。
雇用関連 (北海道)		-	-	-
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・企業の採用意欲が高まっており、コロナ禍で採用に慎重だった姿勢が変わりつつある。スキルについても、即戦力人材へのニーズは相変わらず高いものの、未経験者でも人物像が良好であれば採用の対象となるなど、コロナ禍前の状況に戻りつつある。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	求人数の動き	・北海道全域に緊急事態宣言が発出される可能性が高くなってから、全体的に求人ブレイクが掛かっている。ただ、医療関連業界や清掃業界など、新型コロナウイルス対応を余儀なくされている業界の求人が多くみられるほか、巣籠り生活が続いていることから生活関連サービスの求人も堅調である。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	周辺企業の様子	・テイクアウトや巣籠り需要が生じている企業や店舗の求人動向は大きく変動することなく、堅調に推移している。一方、それ以外の業種の求人動向については相変わらず悪いままである。
		求人情報誌製作会社 (編集者)	周辺企業の様子	・コロナ禍前ほどではないが、今年のお盆前後には道外からの観光客が多数みられ、徐々に活況を呈していた。ただ、8月末からの緊急事態宣言の発出を受け、こうした動きも一気に落ち込むことが懸念される。
		職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・現状について、ここしばらくは余り良くない状況が続いている。観光産業や宿泊業で景気が良くなったという話はなく、飲食店も傾向は変わっていない。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・当地における7月の有効求人倍率は0.85倍であり、3か月前との比較では0.03ポイント上回っている。
		職業安定所 (職員)	それ以外	・7月の新規求人数が前年を上回り、有効求人倍率は1.43倍となっているが、今後、当地の主要企業の事業所撤退に伴って地域経済に大きな影響が出てくることが懸念される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 (就職担当)	採用者数の動き	・2022年新卒者の就職決定率はここ数年間で最悪の厳しい状況になるとみていたが、夏休みまでにほとんどの学生が内定を得ている実態が分かった。業種間での採用意欲には大きな差がみられ、観光や飲食・サービス業などは相変わらず厳しい状況であるが、コロナ禍2年目を迎えて将来を見据えた改善や工夫もみられるようになってきている。全体としては景気が若干安定してきている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・飲食関連においては、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言によって少なからず影響を受けている。関連する業界の求人件数が減少傾向にある。
	x	-	-	-

## 2. 東北(地域別調査機関:公益財団法人東北活性化研究センター)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)		-	-	-
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・新型車効果はまだ続いている。受注は微増だが、来客数は増えつつある。
		観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・旅館業に対する様々な施策のお陰もあり、今月に関しては来客数は前年比120%増加となっている。特に7月中旬から8月中旬までの動きは堅調となっている。
		一般小売店〔書籍〕(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による買い控えが続いている。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	来客数の動き	・27日現在、来客数は前々年比で100名減、前年比で403名減と、客足の伸びが悪くなっている。売上も前年比83.8%となっており、このところ低迷が続いている。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・お盆前までは東京オリンピックが開催されていた雰囲気もあり、飲食店、旅館関係共に僅かではあるが販売量が上向きになっていた。しかし、お盆過ぎに新型コロナウイルス感染者が急増すると一気に人が外出しなくなり、それに伴い販売量も一気に落ち込んでいる。
		一般小売店〔医薬品〕(経営者)	販売量の動き	・売上は横ばいである。店頭対応の感触は、繁忙感もあり若干上向いている印象を受ける。
		スーパー(経営者)	単価の動き	・前月に引き続き、平均1品単価は前年と同水準で推移している。来客数及び買上点数も前月と同じ推移である。新型コロナウイルスの感染者数が急増し、お盆商戦には帰省が少なく、天候も芳しくなかったため、全体的に消費推移の傾向は前月と同じになっている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・今月は少し動きが出てきたと思った矢先にまん延防止等重点措置の適用、続けて緊急事態宣言の発出と完全に頭を押さえられた感じで、後半は失速している。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の収束も予想以上に進まず、客足も戻ってこない。夏の最盛期に売上、利益を取れないと冬場をしのぐことができない。とにかく厳しい。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出を控える人が多い。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・前月は天候の影響で好調に推移したが、8月に関しては後半のお盆期間以降、コロナ禍及び天候不良により来客数に影響が出ている。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置が適用され、経済的には非常にマイナスとなっている。人の動きは鈍化している。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で依然として客足が鈍く、観光客も激減し、土産品の売上もゼロに近い。辛うじてお中元の売上により前年比の3割減となっている。
	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加とともに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が全国に広まってきたことで、消費者が買物をする機会が減ってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・ワクチン接種が行われているが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大によって、外出を避けている方が増えているように見える。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人の受注は少し伸びてきているが、個人の受注がなかなか伸びない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・宿泊の県民割が止まったままの状態であることに加え、まん延防止等重点措置の適用下であり、企業による需要も個人の旅行消費も止まったままである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者の数により売上が増減している。新規感染者数が多くなれば外出控えになり、少なくなれば街中の人出は多くなる傾向にある。これまでの客との会話や客の購入品や購入量などをみると、客数以外はコロナ禍前と変わっていないようである。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・東京オリンピック効果による放送サービスへの新規加入者数の増加を多少期待していたが、その効果は全くなかった。ただし自宅観戦者が多かったためか解約者は少なく、安どしている。インターネットや電話等の通信サービスは思った以上に新規の加入者が少ないが、自宅時間が多かったためか解約者も少ない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・コロナ禍で特段のイベントもなく巣籠り状態が続いていることから、変化は余りみられない。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ数か月は経営状況にほとんど変わりはない。来場者は常連客のみになっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新規客もおらず、変わらない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響を余り受けていない客が多く、中長期の事業計画を粛々と進めているようである。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・ウッドショックの影響が大きく、2か月前に受注し材料を確保できた物件でも、納品は2か月遅れの予定である。木材関連の納期未定のため、新規受注が難しくなっている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・エアコン、コンロ、給湯器などの住宅設備機器は、前年の特別定額給付金効果で急増した販売実績を下回っている。リフォームは増改築、塗装以外の工事が減っている。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・年間で8月は来場者数が少ない月だが、前月から若干の減少であるため、3か月前と同等である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染増加により、地元商店街の来街者数は前年比1割減少し厳しい状況が続いている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の人の来店がなく、発送もなくなっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・商圏内において過去最悪の新型コロナウイルスの感染拡大が進んでおり、来客数が減少している。滞留時間も短縮化しており、客単価ダウンにも影響しているとみている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数の低迷が続いているが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、更なる減少がみられる。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加や高気温の日が続く、それとともに来客数も減少している。衣料品などのセール商品も品薄となり、売上も減少したが、高額商品については依然として堅調に推移している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響がどこまで長引くか分からず、将来の収入に対する不安から、今後食料品に対する支出を抑える傾向が強まると予測している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・7～8月は暑さのせい商品が売れている。それ以外にも前年は夏休みが短かったこともあり、今年は良い実績になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・コロナ禍で帰省が減少した。また、猛暑から一転、お盆期間中は急激に気温が低下し、最高気温は20度前後となった。それにより夏物商材の日記、飲料、酒等が前年比大幅ダウンし、売上が前年を割り込んでいる。来客数も前年比94.8%と苦戦している。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・前年のような極端なまとめ買いはないが、保存食や冷凍食品の需要は増加し、生鮮食品も内容量を増加させた商品などまとめ買いが増えている。しかし、東京オリンピックが終了しお盆が過ぎてから、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、来店頻度が下がってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染者数が爆発的に増えてきているので、客自体が余り動かなくなっており、必要なもの以外は買わないで帰っていくような状態である。そういった面ではかなり厳しい状態が続いている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価の高い時間帯である夜間の来客数が減少しており、売上が厳しい。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数の減少が顕著になっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・7月は前年比100%近くまで回復した来客数が、8月は93%まで低下している。新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は雨の日が多く来客数は厳しくなっている。全社ベースでも前年比96%と結構悪い。そのようななか、ここに来て緊急事態宣言が発出され、来客数は厳しい状態である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・夏物も終わりになってきていて、秋物も立ち上がったばかりだが、まだまだ暑い日も多いので売上につながらない。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・コロナ禍で営業時間短縮、また不要不急の外出を控える状況で、来客数が減っている。
		家電量販店（従業員）	単価の動き	・1品単価の下落が顕著になってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・部品の供給が間に合わず、納期の遅延等が頻繁に発生してきているため、当初見込んだ売上が立たなくなっている。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・半導体不足からくる車両の生産遅延により、当初見込んでいた売上はかなり落ちている。納車待ちの客の中には車両キャンセルも発生しており、問題は深刻化してきている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・例年より仕事量が減っている。
		その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加が止まらないなか、外出自粛の動きが顕著である。また、11日から15日まで最高気温が20度を下回る寒い日が続き、夏物商材の動きが止まった。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム]（営業担当）	販売量の動き	・相変わらず飲食店からの注文はない。その分の売上をどうやって補填すればいいのかわからない。また、同業他社との競合で値下げが激しく、利益が取れない。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加による販売量の減少に天候不順が重なり来店台数が減少し、油外商品の販売までも減少となっている。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言発出と続いたことにより、客足が遠のいている感じがある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・客の宴会場の利用がほとんどない。会議利用もかなり少ない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・お盆休みもありやや持ち直すかとみていたが、後半は感染者も増え、また見通しが立たなくなった。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、予約済みであった個人旅行、修学旅行や遠足などの教育旅行が軒並みキャンセルや延期に追い込まれており、厳しい状況が更に悪化している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・感染者数が増大しており、人の動きが少ない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で海外からの部品が調達できない声を聞いている。特に半導体が鈍化しているため製品完成が遅延しており、売上が上がらない。よって経費削減で売上確保している状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・飲食業の売上が大幅に落ち込んでおり、建設業や宿泊施設もかなりのダメージを受けている。今後廃業する店舗や会社が増加しそうな状況である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が一向に下火にならないため、ますます営業活動がしにくくなっている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出により、入込人数はかなり減っている。どちらかという近隣客、地元客がかなり減っており、日帰り、宿泊共に激減している。また、団体客も軒並みキャンセル若しくは中止・来年へ移動となっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右されている。様々な地域での緊急事態宣言発出や、県内の感染状況の目まぐるしい変化があり、そのたびに客のキャンセルがある。客が増えるということではなく、キャンセルのみが増えている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・客のリターン率自体が前年もずっと10～15%減少の状態が続いており、ここに来て来客数が20%前後減少している。客も新型コロナウイルスに影響されて警戒感をもっているため、来店サイクルが延びてきているのではないかとみている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、客足は停滞している。売上は低迷のまま回復していない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言下なので仕方がないが、全く来客がない。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・8月はまん延防止等重点措置から緊急事態宣言になり、当県でもお酒の提供は停止、夜8時までで閉店という厳しい状況下にあるため、繁華街のほとんどの飲食店がシャッターを閉めている。一般の人は全く出てこないという状況が続いている。
	×	百貨店（買付担当）	来客数の動き	・中旬以降、気温低下と県独自の緊急事態宣言が重なり、一気に商況が悪化した。積極的な集客もできないままセール消化も進まず、打つ手がなかった。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・お盆や夏休みが明け、新型コロナウイルス感染者数が増加している。そのため、高齢者を中心に買物に出ない、若しくは短時間で済ませるなど、マインドが非常に厳しくなっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・県独自の緊急事態宣言発出後、来客数が著しく減少しており、日々の売上確保がより厳しい状況になっている。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の拡大によって、お盆で帰ってきて服を作るといったニーズが激減し、非常に厳しい状況になっている。
	×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年よりも来客数が10%以上減っているため、売上が大きく下がっている。気温など季節要因もあるが、テレビや冷蔵庫、洗濯機など買換え需要も買い控えの傾向がある。単価も前年より下がっている。
	×	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍からウッドショックということで、オーダーメイド家具の原材料等が値上がり又は入手困難な状況になってきている。そのため、生産が追い付かず、販売に影響が出ている。
	×	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・お盆前までの客の入りは少し良かったが、それから新型コロナウイルスの感染状況がひどくなり、緊急事態宣言も発出されたことで、客の入りかさっぱりになっている。売上も当然落ち込んでいる。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	それ以外	・7～8月と飲食だけでなく店頭売上も明らかに急ブレーキが掛かってきている。そのような状況はコロナ禍の影響の大きい都市部だけでなく地方にも及んできている。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・地場産品の小売を行っているが、観光客や他県からの来店が多い。しかし、新型コロナウイルスの首都圏での広まりに加え、首長からは越県往来はしないようにとのメッセージが発せられており、人が動かない。何の補償もされないままどうすればよいのか分からない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスのため、全ての動きが止まっている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染が拡大してきて、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などで全く客の出足が止まっている状態である。以前はテイクアウトの需要もあったが、最近はそういったこともかなり減っており、大変厳しい状態が続いている。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・当地域では県独自の時短要請、更にまん延防止等重点措置の適用、今月27日からは緊急事態宣言が発出されるので、先が見えず、感染防止の観点から当店では全休している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用以来、全く客が来なくなっている。酒の提供もできないため、電話も鳴らなくなった。そして27日に当県でも緊急事態宣言が発出されることが決まった。それにより飲食店に休業命令を出してもらえらるため、かえってそちらの方が助かる。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染者数が激増しているにもかかわらず、当エリアではまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出されていないため、レジャーや仕事での県外との往来を止めることができていない。しかし、大多数は感染リスクを回避するために外出しておらず消費が少なくなっているため、全体的な景気の悪化が顕著になっている。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響でキャンセルが続いている。
	×	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言発出など、客の動向に影響が出ている。先々の動きも悪くなっている。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・感染状況と人流がリンクする。7月中下旬より感染拡大傾向が高まっている。さらに、緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置の適用等に伴い、人流が大幅に停滞している。前年夏は部分的なGo To Travelキャンペーンがあったものの、今年は観光支援事業が東北6県ではほばない状態であり、客の行動喚起につながる仕掛けがないため、前月よりも大幅に悪い状況となっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・仕事にならない状況がある。特に新型コロナウイルス変異株には客も営業側も大変な思いをしている。
	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・今月はこれまでにない天候不順が続いた。その上に新型コロナウイルスの感染状況が前年よりも悪化し、20日にはまん延防止等重点措置、27日には緊急事態宣言発出となった。最悪の前年を超えるどころか、更に下回っている。
企業 動向 関連  (東北)		-	-	-
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は回復している。
		建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・現在の懸案事項は新型コロナウイルスの感染者数の増加についてであるが、ワクチン接種によってかなり重症者数が減っている、若しくは高齢者が掛かりにくくなっているということが共通認識である。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・夏祭りの2年連続中止はあるものの、有効求人倍率は上昇基調が継続するなど、製造・小売業を中心に経済活動が動きを強めつつある。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・ももの主力品種はお盆前の需要があり、贈答品として注文数は例年並みとなっている。遅霜もあったが品質が良かった。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・縮小開催となった七夕祭りは県外客が少なく、3日間の売上は前年比マイナスである。お盆の帰省も自粛傾向が強く、やはり前年比マイナスである。月末は緊急事態宣言の発出もあり、大変厳しい月となっている。土産需要はこのままだとかなり厳しい。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前年比95%程度の販売状況で、厳しい状況に変化はない。土産需要は前年よりも少なく、土産向け製品の在庫が過剰になっている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体価格が景気を大きく左右するが、これまでの上げ止まりから徐々に下落傾向にある。しかし、まだ当業種の景気に影響はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月に入り全国的に新型コロナウイルス感染者数が急激に増えており、当地域も例外ではない。その影響で受注した業務の延期が発生している。また、貨物自体の動きも良くない。8月の売上予想は前年比4%増加となるものの、前々年比では17%減少であり、厳しい状況である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・コロナ禍の厳しい営業環境のなかで、徐々に客の反応が増えてはきているが、思ったような成果は上げられない状況である。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、飲食業、ホテル業の苦戦は続いている。
		広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック開催中は一時的に広告出稿も増えていた。しかし、終了後は感染者数の急拡大もあり、再びまん延防止等重点措置が適用され、上昇傾向にあった広告需要が急激に低下した感じがあり、厳しい状況は続いている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・第5波到来でより一層移動の自粛が求められ、観光業界は非常に厳しい状況である。自粛疲れで出歩いている人はいるものの、遠方からの旅行者が少なく、土産品がほとんど売れていない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏～秋にかけてのイベント、お祭りが中止のため、受注が減少している。
		窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・出荷量が前年同月比90%程度で推移している。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・まとまった受注がない状況である。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍が首都圏を中心に悪化していることにより、受注した業務のキャンセルなど影響が出始めている。
		経営コンサルタント	それ以外	・東京オリンピックの景気浮揚効果も余りみられなかった。
		公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。飲食業、小売業、サービス業などは相変わらず厳しい経営が続いている。建設業関係も住宅関係は業績が落ちてきており、全体としては3か月前より悪くなっている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・半導体の品不足の影響で、メインのIT関連商品の入荷状況が思わしくない。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・お盆明けから、これまで以上の措置である終日酒類の提供禁止が当地から始まり、27日から県内全域にまで広がった影響は大きい。また、取引先でクラスタが発生し、数日間の営業休止なども起きている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・近くの温泉街はお盆直前まで秋の行楽シーズンに向けた予約がそこそこあり期待を大にしていたが、当県に緊急事態宣言が発出されるという話が出た途端に予約連絡が止まり、またキャンセルが相次いでいる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・毎月の売上が前年比マイナスとなっている。負の連鎖を断ち切る思い切った政策が出てこない現状からは、新型コロナウイルス発生前の前々年の数値に戻すには、相当な時間を要するとみている。
	×	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、何も良い材料がない。地道な営業活動で何とかしのいでいる。
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ワクチン関連需要はほぼピークで、業績に寄与している。派遣についてもほぼ偏りのない業種からオーダーが入り始めていて、下期から新型コロナウイルス発生前の状況に戻りつつある印象を受ける。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・中途、新卒問わず社員採用を強化する動きは強くなってきている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・特に緊急事態宣言が発出された月末にかけては、採用活動どころの話ではない状況になっている。学生向けの説明会や中途採用の面談など、いろいろな活動の先送りが発生している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・コロナ禍が続いており、良くも悪くも変化がない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・半導体関連など業界によっては求人数が劇的に増加している状況ではあるが、産業全体で見ると横ばいの状態である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は若干増加しているものの、出方に勢いがみられない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に、3か月前とほぼ同数である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・離職による求職者が増えていないため、求人、求職の動きが低調である。企業の採用意欲は高まっているが、それに応じる人が少なくなっている。
		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・首都圏はオーダーが回復傾向にあるが、北日本はオーダー含め回復に向かっておらず、いまだに低迷が続いている状況である。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・緊急事態宣言が発出されるなどコロナ禍が長引いているため、会議も減り影響が出てきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・県独自の緊急事態宣言を受け、秋頃までのイベントは中止や延期を余儀なくされている。
		学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・学生の学費支払時期となっているが、学費支払について延納や分納の相談件数が前年より増加している。家計状況が厳しい家庭が増えていることが推測される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響がある。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス変異株による感染拡大が急激で、緊急事態宣言発出と同時に、予定していたキャンペーンやイベントを中止、延期する動きが出ている。ワクチン接種が進んでも、感染が収まる見込みがみえないことに対し警戒感が非常に強まっている。

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		-	-	-
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて、若干だが今月の方が販売量は良い。しかし、新型コロナウイルス禍以前の2019年と比較すると、売上達成度は3割前後で推移しており、依然として厳しい。例年、お盆休みに売上のピークを迎えるが、今年は東京オリンピック閉会式前後がピークで、新型コロナウイルス感染拡大や天候にも恵まれなかったため、経験したことのない閑散としたお盆休みとなっている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は3か月前とほぼ変わらないが、緊急事態宣言の発出等で、客単価が上がって、売上も多少上がってきたので、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年と比べて、売上は103%、来客数は93%、単価は110%となっている。前年まではあったお祭りやイベント等は全て中止となり、客注は前年に引き続き、今年もなかった。仕事関係の車は動いている様子で、日中の来客数は前年並みだが、夜は早く帰宅しているようで21時～深夜の来客数は減っている。単価が伸びているため、売上は前年を超えている。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	販売量の動き	・飲食のテイクアウト専門店なので、8月の休み期間は、密を嫌い、飲食店に行くよりもテイクアウトを利用して中食をする客が、非常に増えている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染対策をしながら行動をしている方が、増えている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も同じ報告しかできない。当県はまん延防止等重点措置から緊急事態宣言の対象地域になり、人の動きは余りない。客の話を聞いても、新型コロナウイルスのことばかりで、全く景気の話は出てこない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・前年に比べると、客単価が下がっている。
		スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が再発出されると、以前は買上単価等が上昇傾向になったが、今回の緊急事態宣言の発出では大きな変化はなく、前年並みの売上、単価で推移している。
		衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・例年8月は夏祭り最盛期で、法被等の祭礼用商材が活発に動く時期だが、今年は最悪の状態、例年の90%以下である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出始めてから、1年半が過ぎたが、その頃から何も改善されていないのか、全く環境が良くなっていない。現在の客の動きは常に外出自粛で、次から次へと同じような要請しか出ていないことが今の環境を作ってしまった。改善していかないとどうにもならない。
		家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・前年好調だったテレワーク商材の販売がカバーできていない。企業規模もあるが、中小企業の動きが悪過ぎる。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・新車、中古車販売は、3か月前と大して変わらない。当社は観光地に立地しているが、当県では大手の安売り旅館グループが休業になったり、大手のリネンクリーニング店が倒産している。景気が上向かず、やっていけないような状況で、当社もそうした環境のなかにいるので、修理部門はそれほど落ち込んではいないが、新車、中古車も含めた販売はやや減少している。
		住関連専門店 (店長)	それ以外	・緊急事態宣言の発出期間が9月12日までとなり、飲食店を中心に、景気の落ち込みは横ばい状態が続いている。
		その他飲食[給食・レストラン] (総務)	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出後も、事業所給食は提供食数等にこれまでと大きな変化はみられない。デリバリー部門もイベントや会議後に飲食提供のない状況が続いており、特段変化はない。レストラン部門は緊急事態宣言の再発出もあり、更に利用が落ち込んでいる。総じてやや悪い状況が続いている。
		都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出もあり、夏のイベントが全て中止のため、観光シーズンとしては低迷している。競技大会や試験等の実施や自粛疲れの方の動き、ビジネス客の宿泊もあり、稼働率は上がってきている。一方で、会合等は9月までほぼキャンセルとなっている。10月以降の予約受注はできたものの、夜の会食等はほぼ皆無である。
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出により、予定されていたスポーツ大会等が中止や延期となってしまっている。首都圏からのビジネス客の利用も一層減少し、レストランなどは、もはや営業することで赤字が膨らんでしまう状況になっている。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の動きは良くないが、暑さのため、昼の動きが前年同月比30%の増収である。ただし、2年前の同月と比べると34%の減少である。
		通信会社(局長)	販売量の動き	・来客数は3か月前と比べて2割減となっており、客の購買意欲も鈍化している。
		競輪場(職員)	来客数の動き	・東京オリンピックも終了し、来場者数が少し上向きになってきたと感じたところで緊急事態宣言が再発出され、無観客での開催になってしまっている。今後、有観客の再開時に、客足への影響が不透明である。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出により、飲食や旅客関連業はダメージを受けている。それに伴い、その他の業種も伸び悩んでいるように思われる。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・連日の新型コロナウイルス感染者数の最多更新や、当県では、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言対象地域への移行が決まり、来客数が減少している。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・当県では、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の発出へとより強い宣言に切り替わり、以前から来客数減に悩まされてきたが、更に悪化している。食品は比較的堅調だが、衣料品やリビング関連は、極端な不振につながっている。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・東京オリンピック後、県内の新型コロナウイルス感染者数増加や緊急事態宣言対象地域への追加等の影響があり、8月3週目以降は、来客数が前年比80%台前半の推移となっている。60歳以下の世代のワクチン接種状況の進捗がかんばしくないことも、要因として挙げられる。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・8月は台風等が来たことで気温も低く、来客数が大きく減っている。冷たい麺、ソフトドリンク、アイスクリーム等も、かなり減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、学校は休みで会社も半分の出勤になっているため、人の流れが悪くなっている。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきた影響と思われる。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響なのか、6月後半から新車、中古車の販売が落ち込んでいる。また、修理等整備部門の売上も前年比で12%くらいのダウンである。
		乗用車販売店(販売担当)	来客数の動き	・自動車販売店だが、サービス、修理共に、来客数がめっきり減っている。緊急事態宣言の再発出に伴い、来客数が少なくなっており、展示会を行っても客が来ない。
		乗用車販売店(統括)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、収束しないため、やや悪くなっている。
		自動車備品販売店(経営者)	競争相手の様子	・人流が少なく、来客数が減っていることや、物を買う意欲が低下しているため、販売量が思うようにならない。
		住関連専門店(仕入担当)	販売量の動き	・来客数、販売数共に、マイナス傾向である。新型コロナウイルス禍が長期化し、巣籠り需要も停滞している。かといって、他の個人消費に向かうわけでもなく、消費傾向はとらえどころがない。天候の変動幅も大きく、秋の大型連休も、不安要素の方が多い。
		その他専門店[燃料](従業員)	販売量の動き	・受注が減少しており、前年比でも大きく減少している。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出や天候不良の影響から、来客数が減少傾向にある。
		通信会社(総務担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されて、外出にブレーキが掛かっている。新型コロナウイルスのワクチンを2回接種完了した高齢者世代は、前年よりは不安なく来店している。子供連れでの来店は、目に見えて減っている。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスという巨大な敵に対し、勝つための努力をせずに突き進むだけの思考停止した上層部に危機感がないことが、最大の危機である。
		その他サービス[自動車整備業](経営者)	お客様の様子	・当県も緊急事態宣言が再発出され、車検では、予定外の出費を考慮して、最小限の整備や車検が通れば良い範囲で、といった注文をする客が急増している。新型コロナウイルスが終息しない限り、当分見通しは立たない。
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・やっと少し前向きになって、飲食店の出店問合せが多少増えつつあるところだったが、再度の緊急事態宣言の発出により、全て、延期やキャンセルとなってしまっている。緊急事態宣言が発出された影響で、夜のスナック関係もかなり悪い状況である。不動産の動きも、現在は止まっている。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出後、人の回遊が極端に減少している。商店も休業状態で、売上は全くない。経費だけは出ていくので、営業を続けられない店が多く見受けられるようになってきている。
	×	一般小売店[青果](店長)	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で、取引先の飲食店、居酒屋等はほぼ休んでいる。それ以外の営業している式場、ホテル等の仕入れも軒並みマイナスとなっている。
	×	百貨店(店長)	来客数の動き	・当県に緊急事態宣言が発出された後、来店客数が大幅に減少している。まん延防止等重点措置適用時とは違い、マイナスの影響が非常に大きい。
	×	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出後は、急激に来客数が減っている。
	×	家電量販店(店員)	販売量の動き	・今月も前月に続きトレンドは下降傾向で、前年比で72%、前月比74%と振るわない。伸びない商材は、エアコンが最悪で前年比40%、冷蔵庫、洗濯機が前年比60%程度になっている。
	×	その他専門店[靴小売業](経営者)	販売量の動き	・8月の店頭販売は前年2～3月のように、新型コロナウイルスの影響で、地方ほど買い控えや、家に籠もりがちで、厳しい。今後も現状が続きそうである。前年より来客数が20%以上減っている。また、ナショナルブランドの生産地の状況が悪く、商材の入荷が遅れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言発出への切替えに伴い、景気動向とは関連付けられない先の見えない現状である。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発出されたものの、新型コロナウイルス感染者数が減ってこないなか、来客数は激減している。また、テイクアウト需要も伸びていない。
	×	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・県独自の緊急事態宣言や国からのまん延防止等重点措置、その後の緊急事態宣言対象地域への追加等、立て続けの発出で、ほぼ休業せざるを得ない状況である。テイクアウトも行っているものの、元々、酒と料理の店なので、売上が大幅に減少している。
	×	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数は2割減で、客の購買意欲も鈍化している。市内の複数の場所で新型コロナウイルスの感染クラスターが起き、当店だけではなく、他の店も来客が減っているようである。
	×	観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・国内各地で、緊急事態宣言が発出されており、旅行需要が完全に止められている。8月後半から9月全日にかけて、信じられない数のキャンセルがあったことから、旅行業界に対しては、緊急事態宣言の発出による人流抑制効果は成功したのではないかと。旅館やホテルに対する保証が薄いので、これから多くの事業者が廃業するのではないかと。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の再発出により、8月出発予定客の8割がキャンセルになっている。
	×	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染爆発により、首都圏に加えて当県にも緊急事態宣言が再発出されてしまい、厳しい状態に陥っている。
	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・緊急事態宣言下となり、案件中止が続発し、悪くなっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・再び緊急事態宣言が発出され、ますます利用客が減少している。他地区の調査結果をみると、当地区だけ利用客が少なくなっているようだが、地方の田舎では、深夜2時まで営業していても、午後10時から1回も稼働できないときもあり、ひどい状況である。田舎は正直で、20時過ぎると商店街も真っ暗である。
	×	タクシー（役員）	それ以外	・国の新型コロナウイルス対策はどうしようもない。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、国内至るところで深刻である。地方に仕事がないので、首都圏中心に動いていたが、既にその流れさえ厳しさを増している。
	×	テーマパーク （職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の対象拡大で当県も対象地域になったことから、来園者が大幅に減少している。
	×	ゴルフ練習場 （経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されてから、車の交通量や歩行者の通行量が約50%に減っている。
企業 動向 関連  (北関東)		-	-	-
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の受注や販売量が、大分増えてきている。
		不動産業（管理 担当）	受注量や販売量の 動き	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化しているが、以前なら取りやめや延期になったはずの作業等が、感染対策の手間はあるものの、以前と同頻度で実施できることが増えている。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の 動き	・稼働日数の関係が、予想出荷量に達しなかったが、悪くなったとは思っていない。この状況がしばらく続く。
		窯業・土石製品 製造業（総務担 当）	受注量や販売量の 動き	・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出による影響が、出てくるのではないかと心配である。
		金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・前々年の売上との比較では8月は55%、9月は70～80%で推移している。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の 動き	・自社分の部品調達をしているが、全ての部品が入らない。7～8種類の違う物、電線、端子、コネクタ、副資材等を買っているが、注文してから入るのが3～6か月後となっている。あと2か月くらいで生産が止まる可能性があり、状況としてはかなり厳しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足解消の見通しが立っておらず、自動車の減産が続いている。また、新型コロナウイルスの影響による東南アジアのロックダウンにより、一層の半導体不足が懸念される。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・東京オリンピック・パラリンピックにより、大型テレビ等の物量が増え、また、猛暑により、エアコン、サーキュレーター、扇風機等の物量も予定どおりの量を確保している。しかし、通販向けの物量が15%ほど落ち込み、例年並みの物量は確保できたものの、前年比でみると全体的には10%ダウンである。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・私どもの仕事は、景気に余り左右されない基本的な部分があるので、ほとんど変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍で、国内の自動車組立てラインが操業停止となることから、急きょ、当社からの納入にストップがかかり、今月見込んでいた売上が大きく落ち込んでいる。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ホテルの婚礼、宴会等がなくなって、非常に厳しい状況である。飲食店も同様で、店が継続できるかどうか分からない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、自粛ムードは強く、飲食、宿泊業は特に厳しい。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出されたの影響もあり、先行きに対する投資マインドが落ちてきている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。前政権誕生後、公共工事は順調に推移し、現政権でも順調である。今期は4月スタートから3か月経過しているが、公共工事は前年比13%減で大変である。当社の受注も前年比10%減と厳しいスタートになっている。新型コロナウイルス禍のなかで、現状を受け入れなければならない。今後も受注に向けて、前向きに考えていきたい。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・相次ぐ緊急事態宣言期間の延長による飲食店等の営業自粛、営業時間短縮等のため、飲食店及び直接的、間接的に取引のある食品や食材関連、更にそれらと取引のある運輸、倉庫等の物流関連業種まで、経営の継続が非常に困難になっている。そのため、地域の経済活動も委縮している。
雇用関連		-	-	-
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・医療、看護師などの看護関係人材、介護関係の自治体等の募集が目立っている。建築関連もぼちぼち目立ってきている。改装、塗装関係が一部で目立っている。生産工場は、一進一退なのか、ラインの組み換え等もあって、従業員の不足、又は人員カットがあったようである。衣料品、食料品関連は底堅く、伸びているように見受けられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・化学薬品、包装材料等の販売専門商社からは、売上が好調との話を聞いている。一方で、発動機関係部品加工や建設用ボルトの製造、部品加工等の事業所からは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等で、9月以降は作業量が減少する等の話もあるため、変わらない。
		学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が当県にも発出され、経済活動への影響がみられる。また、学生等の活動も制限され、活動範囲が狭まったことも影響している。
		人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で工場閉鎖となり、自動車関連と食品関係の製造が減少しているため、やや悪くなっている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言の再発出により、新規に休業を実施した飲食店から、雇用調整助成金の相談が増加している。飲食店関連の事業所にも影響が出ている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	*	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (南関東)		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は東京オリンピック・パラリンピックがあり、無観客になったとはいえ関連の仕事が発生しているため、販売量が上がっている。ただし、新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が再発出されており、教育旅行や個人の観光旅行については中止又は減少している（東京都）。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・お盆が終わり、天候が大分回復してきたことと、新型コロナウイルスの感染者数が増えるにしたがって家庭内の需要が少し高くなっていることから、月後半は多少売上が良くなっている。
		スーパー（ネット宅配担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響か、お盆を過ぎた辺りから売上が伸びている。特に、販売数量の伸びが大きい。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	それ以外	・前年度に準備してきたことが今年度に入り奏功している。準備した主な実施施策とは、テレワーク等で消費者が激減する営業店及び外食などの赤字店舗からの撤退、今年度に入り来客数が減少すると思われる営業店の要員体制の見直し等である（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今月は東京オリンピック・パラリンピックの影響で、大会関係者が約3割宿泊してくれたことにより、販売量が約95%と向上している（東京都）。
		タクシー運転手	来客数の動き	・飽くまで3か月前と比べると、人の動きは多少あるが、新型コロナウイルスの感染者数が減らないと、売上が大幅に伸びてはいかない（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	お客様の様子	・少しずつではあるが、案件数や商談確定数が増えている傾向がみられる（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約118%となり、3か月前と比べても11%アップし、やや良くなっている。新型コロナウイルスの影響があると思っていたが、夏休みや長期休暇により住宅展示場への集客数が増え、商談数、販売量共に増大している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前年、前期との比較において、受注量が増えてきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の人の流れが、以前に比べて若干減っている気がする。それに伴い、当店の来客数も減少しており、商売にかなり影響している。
		商店街（代表者）	それ以外	・クレジットカードの取扱高は堅調に推移している。政府や東京都の呼び掛けとは裏腹に人流は減っておらず、飲食以外はそれなりに売上を確保できている。新型コロナウイルスの感染状況を見る限り、それが良いのか悪いのかは分からない（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・長引く暑さのせいで8月になってもエアコンの注文が来ているが、今年は取付けが間に合わないほどは売れていない。前年より2割は売上が減少している。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・猛暑になったこともあり、エアコンが動いている。テレビは、東京オリンピック・パラリンピックが開催された割には静かである。洗濯機もよく動いている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスと猛暑の影響を受けている。路面店でアーケードもない独立店舗なので、猛暑が非常に大きく響いており、新型コロナウイルス禍とのダブルパンチになっている。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・祭事が縮小、中止され、イベントも中止になっている。ほとんど需要がなく、個人需要も滞っている。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・客から、なかなか厳しくなってきたという声を聞いている。	
	一般小売店〔傘〕（店長）	お客様の様子	・必要性のある方の購入はあるものの、緊急事態宣言下であり、停滞ムードのなか、景気が良いとは感じられない。	
	一般小売店〔生花〕（店員）	単価の動き	・新型コロナウイルスが発生してからずっと悪いままで横ばいである。本当に困っている（東京都）。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕(販売企画担当)	来客数の動き	・今月は厳しいこともあるが、それ以上に緊急事態宣言等の影響で来客数が極端に減っている。店頭部は来客数の減少と、前年は大量にあった衛生用品等の販売がないこともあり、苦戦している。外商部も緊急事態宣言等の影響で取引先に行けないことがあり、停滞している。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	来客数の動き	・ギフト需要は少なく、自宅用が多くなっており、来客数は増えたものの、売上は減っている。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言がまだ続いているので、特定の客からの注文しかなく、新規の客がない。さらに、イベントがなく、売出しもできない。早く日常が戻ることをただ願うばかりである(東京都)。
		百貨店(広報担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数急増に伴い、7月後半に落ちた来客数がいまだ戻る兆しはない。一方で、緊急事態宣言下で営業に制限が掛かっていた5月と比較すると、さほど状況は変わらない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・今月は、新型コロナウイルス新規陽性者数の7日間平均が、3週間連続して過去最多を更新しながら増加しており、来客数が前年を下回っている。来店客は必要な商品のみを短時間で購入している状況なので、客単価は前年を下回っており、売上も大変厳しい。食料品以外は前年割れの状況となっている(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・百貨店、大型商業施設でのクラスター発生に関する報道後、自治体からの入場制限要請もあり、マイナス幅が大きくなっている(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言があっても、自粛意識が低くなっており、来客数も増えている状況であったが、百貨店指定の入場規制が強く打ち出されて以降、来客数、売上共に減少している(東京都)。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・来客数の動きをみると、4～7月までは前々年比で毎月118～120%で推移している。前年8月は大型テナントのオープン与件があり、かつ今年は緊急事態宣言下であるが同様の動きを示している。
		スーパー(販売担当)	お客様の様子	・客の様子を見ていると、広告初日の価格を打ち出した安価な商品やポイント何倍の日、あるいはタイムサービスなど、少しでも安く買物ができる店、時間帯などをうまく使って買い回っている状況が多く見受けられる(東京都)。
		スーパー(店長)	それ以外	・今月というより今年に入ってから、売上目標は予算を達成しているがもうけの部分が未達という事態になっている。売上で考えれば景気は良いが、もうけが予算未達のため、懐事情は非常に厳しい。買上点数や単価、来客数は当然ながら前年を割っており、前々年と比較しても同じくらいで、売上は良いもののもうけがないのが現状である(東京都)。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に変更になったことにより、夕方から、特に総菜を中心に売上が伸びてきている。客層も中高年層から若年層に広がっている。
		スーパー(店長)	単価の動き	・売上、来客数は前年並みを維持しているものの、客単価の上昇がみられない。より安価な物へと志向がシフトしている(東京都)。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・お金を使う場所がないので自然にたまっている。使えないという感じである。
		スーパー(営業担当)	販売量の動き	・この夏の暑さの影響が、季節商材の稼働が顕著にみられる(東京都)。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・今は季節的に夏休みのため来客数が増えているというだけである。ただし、前年比では悪い。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・来客数にかなりばらつきがある(東京都)。
		コンビニ(商品開発担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に加えて、この時期の天候不良が大きく影響して、販売数や来客数が減少している(東京都)。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・多くの人は旅行を我慢し、外食すら出掛けられない状況なので、外出着の需要が落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・年間で最もインパクトのある展示会を、主軸事業である着物、ドレス事業で、新型コロナウイルス対策を十分に講じて実施したが、残念ながら計画の70%で終了している。分析すると、緊急事態宣言の延長により来場予定客のキャンセルが多かった(東京都)。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が景気を大きく左右していると感じる。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っている。販売も、前月までは余り良くなかったが、今月から少しずつ動くようになってきている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、半導体不足問題も解決しきれず、客も慎重になっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で、展示会ができないため、新車販売台数が減っている。また、車検や部品交換など、車で一番利益の取れる周辺のアフターサービスについては、距離を走らないために部品交換の需要がない。一番粗利率の高い部品交換ができないのでは良くない(東京都)。
		その他専門店 [ドラッグストア](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、ドラッグストアは前年比で来客数も売上も全て悪いが、薬局は非常に良いので、トータルすると変わらない。
		その他専門店 [ドラッグストア](経営者)	販売量の動き	・消費マインドが少し低いようで、今月は販売量の動きが余り良くない。
		一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・要請に沿った営業をしている同業各店は、おしなべてここ1年で基礎体力が落ちてきている。新型コロナウイルスの影響が長期化すれば、事態は更に深刻化する(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業している店舗もあり、緊急事態宣言中で営業できない状態なので、何ともいえない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が広がる前に東京オリンピック開催という期待もあったのだが、逆に、東京オリンピックが感染を広げるといふ当時の不安から比べると、今は東京オリンピックも終了して、不安はなくなっているが、実際に感染は拡大しているの、客足が遠のいたままになっている(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきているが、ワクチン接種が進んでいることで、まだ国内旅行への影響はない(東京都)。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が続いているためツアーの造成ができない(東京都)。
		タクシー(団体役員)	来客数の動き	・今は最低の水準であり、これ以上の落ち込みは考えられない。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・8月の客からの問合せ件数は、前年同月比で戸建てでは3割増加、集合住宅では約半減、前月比では共にやや減少している。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の影響を受けてはいるものの、訪問拒否やキャンセルは目立っていない(東京都)。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言の再発出中で、積極的な営業活動はできていないが、販売量は変わっていない(東京都)。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・番組の打ち切りが出ている。引き合いもあるが、実需につながっていないため、苦しい状況になっている(東京都)。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が戻らず、契約数が回復しない。契約数維持のために端末とのセット割引を実施しているが、依然として解約率が高い(東京都)。
		通信会社(管理担当)	それ以外	・対面販売が基本となるが、従業員の新型コロナウイルス感染が発生しており、オンライン営業に切り替えている。対応方法は限られており、新規の客を獲得する経済活動ができず、実績も限定的となっている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に、「無駄を省いて必要最小限」という意識が強いことは変わらない。
		通信会社(経理担当)	単価の動き	・インターネット接続サービスの需要はあるが、値下げ圧力と顧客満足度を満たすための設備増強に掛かる費用で、利益率が下がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染再拡大の影響が強く、当社の訪問を避ける世帯も多いなど、営業機会の減少から新規契約獲得件数が伸び悩んでいる（東京都）。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・来場客数、客の会話の中で、売上が伸びていないといった景気の悪い話題しか出てこないことからの判断である。
		その他レジャー施設 [ ボウリング場 ]（支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数が増え、用心するようになり、月後半にはファミリーや学生の来場が少なくなっている（東京都）。
		その他サービス [ 保険代理店 ]（経営者）	販売量の動き	・さほどの変化はない。目に見えて客の購買心に変化はみられない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新しい案件が入ってきていない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・民間からの受注が厳しいため、官庁の発注に頼らざるを得ないが、今年度の設計発注は終盤を迎えて残り少なく、厳しい状況に変化はない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・考え方のコンサルティング等、話だけで実質的な仕事にはつながらない状況が続いている。どのような方向で持っていくか分らず、請求につながらない（東京都）。
		設計事務所（職員）	それ以外	・官公庁の建築発注は例年とさほど変わらないが、民間発注は減少しているように感じる（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内数か所に保有している賃貸用のホテルでは、東京オリンピックが開催されたにもかかわらず、観光客及びビジネス客が極端に減っているため、ホテル運営事業者から約定している賃料がほとんど入っていない。また、建設業は、公共工事以外の新規プロジェクトが少なく、民間からの受注がほとんどない状態が続いている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍ではあるが、受注量は例年とほぼ変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・3か月前と比べて大きな変化はない。土地の仕入れに苦戦している。新規在庫登録も前年に比べて激減しているため、競争が厳しい。販売に関しては、反響が多くなり、良い方向に向いてきている。
		その他住宅 [ 住宅資材 ]（営業）	販売量の動き	・建材の需要期ではないにしても、例年並み程度の状況である。東京オリンピック開催期間の影響で工事の遅れもあり、伸びがみられない（東京都）。
		一般小売店 [ 家具 ]（経営者）	来客数の動き	・景気が悪いのは仕方ないが、来客数が非常に少なくなっている。来店しても、商品を買ってくれるのかどうかはつきりせず、売ることが難しい時代になっている。いろいろな販売ツールがあることもあり、なかなか客が専門店の良さを感じてくれないというのが現状である（東京都）。
		一般小売店 [ 文房具 ]（経営者）	お客様の様子	・今月は緊急事態宣言期間がまるまる被ったため、近隣飲食店の客の来店が大きく落ち込んでいる。東京オリンピックが1年遅れての開催となり、有観客での開催ならばインバウンドの売上も見込めたところが、ほぼ無観客での開催となったため、恩恵もほぼない（東京都）。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍における県内の感染者数増加、緊急事態宣言の延長等により、来客数の減少、衣料品、食料品等の売上減少に歯止めが掛からない状況で、全体的に厳しさが増している。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大と、店舗の入場規制等により、来客数が減少している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・商業施設では入場制限などが来店阻害要因となり、来客数が減っている。制限するほど客は来店していない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	それ以外	・3か月前は新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置適用地域であったが、7月末に緊急事態宣言対象地域に追加されたことや、市内の感染者数が大きく増加したことが影響している。来客数は7月には前年を上回っていたが、8月に入ると前年を割り、合わせて売上も減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、入場制限をしなければならなくなり、世論も厳しい見方をしている（東京都）。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・降雨や暑さの影響で、来客数が少なくなっているが、それだけでもなさそうである。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・8月は、衣料品が大幅に前年を下回っている。特に、7～8月は降雨が多かったことや、テレワークの影響で、衣類の購入が控えられたことがある。頻度性の高い日用品などは前年並みだったが、住まいの品は2割ほど落ちている。食品に関しては、テレワークを含めて、外出を控えて在宅が多かったため、前年並みの数字を確保している。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が爆発的に増加し、緊急事態宣言が発出されているものの、人流の減少はみられない。感染リスク回避のためか買物頻度が減っている。特に、お盆は在宅、巣籠りであったためにごちそう商材の動向が悪く、降雨で気温も低かったため、夏物商材の動向も悪かった。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・再度の緊急事態宣言発出により、夜間の来客数が減少している。月初に売上、来客数共に回復したが、月半ばから状況が悪化している。また、従業員が新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者が多発したりしていることにより、厳しい状況に陥っている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・降雨で来客数が悪いとしても、買上点数が少ない。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが感染爆発しているのので、来客数がかかり減っているという印象を受けている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が爆発的に増え、外出を控えている感じがする。また、今月は雨天が多く、来客数、売上共に減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月に入るまでは回復傾向にあったが、緊急事態宣言の再延長、対象地域拡大に伴って、来客数が例年を大幅に下回っている（東京都）。
		衣料品専門店（従業員）	販売量の動き	・必要な物しか買わない様子が見受けられる。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が再拡大し、緊急事態宣言が長引くなかでは、来客数の伸びは期待できない。大物商材に関しては前年度の特需の影響で大きな伸びは見込めない（東京都）。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・東京オリンピックが閉会してから、来客数が顕著に落ち込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・夏季休暇があったので、新車の受注数が減少してしまい、メーカーからの出荷も遅れているため、前年よりも売上が落ちてきている。
		乗用車販売店（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響及び半導体の供給不足による生産遅れがある。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークを迎えているなか、身の回りにも感染者が増えてきている。この状況下で来客数が増えるわけがない。接客も正直怖い（東京都）。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響に関して、ワクチン接種の普及に伴って消費マインドも上向きに転じてきた感触があったが、第5波の感染規模の大きさ、収束が見通せない状況などにより、自粛ムードに戻りつつある（東京都）。
		住関連専門店（統括）	来客数の動き	・以前は土日の来客数は結構あったが、今は半分以下で、当然ながら売上も半分以下に落ち込んでいる。
		その他専門店【貴金属】（統括）	販売量の動き	・自粛要請による来客数減少の影響はなくなってきているが、商業施設、百貨店での新型コロナウイルス感染者数増加により休業を余儀なくされる場合があり、販売量がやや悪くなっている（東京都）。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（団体役員）	来客数の動き	・7月まで若干の良化がみられたものの、8月は新型コロナウイルスの感染再拡大と天候不良により、前年比でも前々年比でも悪化している（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言中の新型コロナウイルス禍において、来客数の減少が続き、厳しい状況となっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の延長、新型コロナウイルス感染者数の増加が止まらないため、来店、利用機会が制限されており、先が見えない状況である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・酒類の提供禁止や時短営業になり、お酒の売上がゼロになってからは、やはりかなり大変である。ほとんど客が来ない状態も続いているため、景気がどんどん悪くなっている。このままでは潰れてしまう。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が急増し、外食にまつわる感染リスク回避、また、医療体制の厳しい緊迫感が一般の人々に伝わってきていることから、来客数の減少が顕著になってきている（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・依然として緊急事態宣言が続いている。テレビで新型コロナウイルス感染者数をあおるほど、当然であるが、来客数は減っている（東京都）。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店、コーヒー専門店を経営している。新型コロナウイルス感染者数が4000～5000人を超えるようになってから、飲食する客が全くなり、来客数が一気に減ってしまっている。前年までは物販の動きもあったが、来客数自体が減り、24年間経営しているが、対処法が分からなくなっている（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・無観客ながら東京オリンピック・パラリンピックが開催され、関係者の宿泊があるので、表面的には回復しているようにみられるが、やはり緊急事態宣言の継続で、酒類の提供ができず、宴会等が皆無のため、全体的には非常に厳しい状況が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・お盆までは土日祝日の宿泊、レストラン利用共に高稼働であった。特に、レストランは平日のランチも満席近くになる日があったが、新型コロナウイルスの感染者数が増えるにつれて予約のキャンセルが相次ぎ、一転して厳しい状況となっている。平日のディナー予約はほぼなくなり、バーは酒類提供停止で休業が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・緊急事態宣言の再発出に伴い、見込みを大幅に下回っている。7月は順調に伸びただけに、苦しい状況となっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍のなかで、時短営業や不要不急の外出自粛を求められており、客がほとんど来ない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前年同期比90%、前々年同期比15%の状況である（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・夏休みは繁忙期だが、新型コロナウイルスの影響で、全く稼働できていない（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・昼間のタクシー利用客は全く増えていない。都心のサラリーマン客が増えていないため、乗車の比重がサラリーマン客から下町等の客に移ってきている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、訪問による客との接触機会が大きく減少している。そのため、営業機会も減少する傾向にあり、新規契約数も伸び悩んでいる。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で転居の動きが鈍っていることと、積極的な営業ができないことから、契約数が減少傾向にある。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業自粛が強化され、リモートでの対応にシフトしたことで、客との接触率とサービス成約率が低下していることが大きく影響している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・当社は対面型営業を中心に行っているが、新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、対面型営業ができなくなり、契約を獲得しにくくなっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		ゴルフ場（経理担当）	競争相手の様子	・東京オリンピックのゴルフ競技や海外メジャー大会での日本人選手の活躍により、ゴルフのプレー意欲が旺盛になり、ゴルファーの裾野が拡大する効果がみられる一方、猛暑と天候不順もあって、直ちに来場客数の拡大などの効果が具現化しているわけではない。特に、4回目の緊急事態宣言発出以降は、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、感染を警戒する高齢層のプレー自重の動きが一層顕著になっている。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・当県にも緊急事態宣言が再発出されて以降、不要不急の外出自粛の影響が、以前の宣言時よりは弱いものの、ある程度出始めており、間違いなく客足が遠のいている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・若い人は平均的に来てくれるが、40～50代の中高年齢客の来店頻度がまだ鈍っているような気がする。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、建築設計の営業が成り立たない。今までに計画があった物件は全てなくなっている。役所に営業をしに出向いても、なるべく営業は差し控えてくれないかといわれ、事務所を出ることができない。そういいながらも、一生懸命各市町村を回っているのだが、担当者と話をして、そういう話は今はできないといわれ、新しい営業が見えなくなっている。社員が20人ほどいるが、どのように営業を展開していったらいいのか、本当に困っている。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響があり、仕事量が非常に減っている。競争入札はあるが、なかなか仕事が取れないのが実情である。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響が続いており、仕事に大きく響いている。相手との接触も控えめとなるので、仕事が決まるまでかなりの時間が必要になる。非常に厳しい。
	×	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	お客様の様子	・8月に入って緊急事態宣言が再発出され、お盆の帰省土産が新型コロナウイルス禍前に比べて半分以上にならなってしまう、売上が激減している。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言下にあるため、入客が少なくなっている。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・東京オリンピック開催時辺りから新型コロナウイルス感染者数が増えたが、それに比例するように来客数が減少している。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・食品担当だが、デパ地下でクラスターが発生しているなどの報道があったことにより来客数が半分以上に落ちている。さらに、東京都の要請により厳しい入場規制が行われていることで、来客数、売上共に厳しい状況となっている（東京都）。
	×	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が延長され、客の行動自体の自粛が求められるなかで、購買行動の活発化は非常に厳しいと感じている。特に、旅行などのお出掛け需要関連商材の動きが鈍い（東京都）。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染対策における政府見解や各種報道等により、百貨店の業況は非常に厳しくなっている（東京都）。
	×	百貨店（経営企画担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言下にあっても、この数か月は徐々に回復基調にあったが、東京オリンピック期間中の外出控えに加え、新型コロナウイルス感染者数の爆発的な伸び、天候不順等の影響もあり、来客数が減っており、売上も伸び悩んでいる。さらに、デパートにおけるクラスター発生、デパ地下の入場制限等、報道の影響もあったのか、今月に入ってから厳しい状況となっている。特に、衣料品の動きが悪い（東京都）。
	×	百貨店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍における人流抑制への協力を継続的に実施しているが、特に8月は都内だけでなく全国的にも感染者数が増加し、来客数が大幅に減少している（東京都）。
	×	百貨店（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数拡大、緊急事態宣言の再発出及び対象地域拡大等に伴い、販売量が悪化している（東京都）。
	×	百貨店（企画宣伝担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の期限延長や政府高官の発言が、消費者心理に与える影響が大きい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比88%である。緊急事態宣言の影響は大きく、人の動きが止まっている。
	×	衣料品専門店（役員）	来客数の動き	・元々、8月は衣料品の売上が少ない月ではあるが、今年は特に悪い。帰省や旅行を控えている影響がかなり大きい。
	×	家電量販店（店長）	販売量の動き	・繁忙期にもかかわらず、エアコンを始めとする季節商材の販売量が少ない。前年に売れ過ぎた影響もあるかと思うが、想定以上に売上が悪い（東京都）。
	×	家電量販店（経営企画担当）	来客数の動き	・8月に入っても新型コロナウイルスの影響を大きく受け、非常に厳しい状況となっている。ワクチン接種が進み、市場の雰囲気も改善すると考えていたため、その反動はより大きい（東京都）。
	×	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるなか、感染の不安と収入の減少が客の購買活動を鈍化させている（東京都）。
	×	その他小売 [生鮮魚介卸売]（営業）	お客様の様子	・具体的な状況も何も、政策が後手後手のため、こうなってしまったという気がする（東京都）。
	×	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルス禍において医療崩壊が起きており、これを身近に感じる消費者が増えている。全国ニュースになった市内で搬送先が見付からずに死亡者がが出た事案以降は、来客の減少が顕著である。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・7月の終わり頃から来客数が減り、8月は過去最悪の来客数、売上となっている。
	×	高級レストラン（営業担当）	来客数の動き	・首都圏店舗を中心に、緊急事態宣言への対応などでほとんどの店舗が休業しており、売上が前々年比20%となっている（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の5月1～30日までの前年比は、売上128.0%、来客数139.7%である。今月8月1～29日までの前年比は、売上28.3%、来客数28.53%である。今月は5店舗中4店舗が休業している（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・当店は元々夜に飲んだり宴会を取ったりする店だが、緊急事態宣言が再発出されているため、今は夜に客を取っておらず、ランチ営業のみである。ランチもほぼ1人客なので、売上は以前の10分の1以下となっており、大変である。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・やはりアルコールを提供できないので、客単価が伸びず、ずっと悪い方向である（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・飲食部門の売上減少要因は、時短営業とアルコール提供禁止の影響であることが明らかである。食品輸入卸も、納入先の新型コロナウイルスの影響がそのまま売上に反映され、減少している。
	×	都市型ホテル（支配人）	それ以外	・緊急事態宣言により、来客がなく、予約もキャンセルになっている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・東京オリンピックで多少は売上が増えたが、それ以外は全く振るわない。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が延長されたため、受注済みの学校や団体旅行も次々にキャンセル又は延期となってしまっている。既に9月は半分以上の案件がなくなってしまう、状況は更に悪くなる一方である。
	×	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・8月2日に1都3県に再発出された緊急事態宣言が9月12日まで延長され、その影響により夏季繁忙期にもかかわらず来客数が増えず、売上は新型コロナウイルス以前の約30%にとどまっている。
	×	タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でタクシー運転手が退職しているという報道がされている。私は個人タクシー事業者だが、2021年4月以降の緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置の影響で、売上の減少に対して支援金10万円が給付される。しかし、この支援額では売上と合算しても、事業経費を差し引くと到底採算は取れない。今は借金をして生活するしかなく、苦しい（東京都）。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が9月12日まで延長され、ますます先が読めない。ただただ駅に付けて客が乗ってくるのを待つばかりである。昼間はそこそこ無線が鳴るので助かっているが、夜はほとんど無線が鳴らないので、駅に付け、ひたすら客を待ち続けている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大による景気の悪化に尽きる。最寄り駅の大型店舗が閉店となり、街の活気もうせていく。
企業 動向 関連  (南関東)		*	*	*
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時的に減少していた分の揺り戻しが来ているだけのように感じる。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界的には受注量が多く、特に、半導体関係部品の受注量が3か月前に比べて更に15%以上アップとなり、受注を断っている状態である。しかし、他の業態は減収減益となっている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・ずっと決まりかけていた物件が何件か決まっている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず契約解除案件が多発しているが、新規の受注に期待している（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はどちらにもあると思うが、システム開発は必要とされている現状があり、動いている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・酒屋であるが、ずっと悪いままである（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年8月は受注量が多くない（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	それ以外	・3か月前と同じく、新型コロナウイルスの影響で受注が減少している。新型コロナウイルス禍に対応した営業等を行っているが、今後、現状が続かないことを願うばかりである。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年の3か月前は、新型コロナウイルスの影響で最悪な状況であったが、今年の3か月前は、東京オリンピック開催を前にして、前々年に比べればまだまだ勢いはなかったものの多少は回復しており、その状況が今も続いている。しかし、先行き不安が拭えない状況であり、インバウンド需要がなくなっていることも響いている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注、売上共に落ち込んだまま、余り変化はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	取引先の様子	・化粧品容器、特にメイクアップ関連の受注が下げ止まったまま、回復の兆しが見えない。医療品容器の受注も、海外工場がロックダウンの影響で稼働できず、部品発注が滞っている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で仕事は少ないものの、得意先の仕事が少し動き出したようである。ただし、納期が重なり、納期調整に苦労している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先からの内示情報は増産傾向にあり、受注量としては非常に増えている。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・今年の繁忙期は物量が伸びず、そのまま低迷している状態である。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・まだ閑散期のため物量が増えない。今年度はゆっくりとしたスタートとなっている。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、取引先の飲食業、小売業の売上が低迷している。建売業は、輸入部材が高騰し、材料不足による工事の遅れや利幅の減少が大きい。半導体部品の品薄から関連業種にも売上減少が続いている。家電関係は東京オリンピック景気で若干増益だが、総体的に景気は下降傾向である（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・前年よりは売上が増加しているが、新型コロナウイルス発生前に比べると、まだ復活といえる数値ではない。クライアントの宣伝費も引き続き渋い（東京都）。
		税理士	それ以外	・事業そのものよりも新型コロナウイルスの影響が大きい。中には良い業種もあり、知り合いのスーパーの役員はとても業績が良いといていたが、全般的には、製造業、小売業、飲食業、全て悪い。夜10～11時過ぎに商店街を歩くと、閉まっている飲食店が多い。中には営業して、酒を出している店もあるようだが、街の灯が消えている（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・返済不要の雇用調整助成金等を活用したい会社が多く見受けられる（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小製造業では、相変わらず受注が低調のままで推移し、下期に向かって回復の見通しが無い様子である（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・繁忙期のお盆が、悪天候と緊急事態宣言による帰省や外出の自粛のため、過去最低の売上となってしまっている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・今月は休日が多く、東京オリンピック開催や夏休みで仕事はさっぱりだったが、来月に向けて話だけは少しある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍にありながら、夏休みなどいつもより休みが多く、他社も当社も従業員の巣籠りが続き、経済活動が一部を除き不活性化している（東京都）。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・東南アジアでのロックダウンの影響で、半導体などの部品供給が遅れており、自動車生産に大きな影響が出ている。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、取引先が店を開けていないので客が来れないという状況で、かなり不況が続いている。早く回復してほしい。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・資材が高騰している関係か、新規案件についての話がなくなっている。改修や修繕の仕事は例年と同じくらいで推移している。
		輸送業（経営者）	それ以外	・東京オリンピックの閉会、続く東京パラリンピックの閉会に伴う休配日の増加により、前月同様、稼働日数が減り、売上減少が生じている。また、燃料価格の高止まりによる負担増もあり、依然として状況は厳しい（東京都）。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足の影響か、メーカー系の荷主の荷動きが相当に悪くなってきている。食品スーパー以外の業種はおしなべて低調である（東京都）。
		金融業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下において、特に飲食、宿泊、運送業等の業況が更に悪化傾向にある。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・8月に再発出された緊急事態宣言も、また延長になっている。特に、飲食関係では制限が厳しく、うまくいっていない店舗が多数ある。不動産賃貸業には、住宅では2年、事業用では3～5年の期限を定めて賃料1か月分の更新料を支払わなければならない。住宅用では一部更新料がない物件もあるが、事業用ではほとんどないため、事業用の更新がうまくいかない。「新型コロナウイルスに感染したのでしばらく待ってほしい」というような案件もある。電話を掛けても出してくれないなど、全てが新型コロナウイルスの影響で苦労している。ワクチン接種もうまくいっていない。先ほど賃料を持って来た客は、やっとワクチン接種の予約が取れたと話していた（東京都）。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言の度重なる期限延長で、飲食店舗の中には「先行きが見通せないので店を閉じたい」と申し出る店が徐々に始めている。賃料を減額しても、維持費を賄いきれないとのことで、どうにも立ち行かなくなってきている。オフィステナントの方は、新型コロナウイルスに感染する社員が増えてきて、社内対応に追われている様子がかがえ、退去したい、あるいは賃料を下げてほしいという話が少なくなっている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・秋頃には新型コロナウイルスの影響も少なくなっていくと想定していたが、逆に感染者数が増え、秋以降のイベント催事は軒並み中止の判断となっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・緊急事態宣言の影響により、売上の減少が続いている。
		税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、緊急事態宣言の延長で、旅行も外食もできない状況が続いている。アパレル関係は、衣類の売行きが低調を極めていく。ワクチン接種が進むことを切に願っている。
		その他サービス業〔ディスプレイ〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受注後のキャンセルが相次いでいる（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先工場の稼働状況が悪いままで回復しておらず、受注も低迷したままである。前年同月比ではほぼ変わらず、前年と同様のマイナス傾向を維持している。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・公共事業の仕事が一段落している。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年この時期に発注されるイベントの中止が決定し、売上が上がらない状態である。緊急事態宣言の対象地域が広がり、地方への移動もままならない（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・案件が先細りすると情報が入っている（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が、年度当初の勢いがなくなり、下降傾向にある。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック・パラリンピック開催期間中で、全く案件が動かない。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑やゴム印、名刺印刷などをしている。路面店で、個人客と法人客とがある。今月は問屋の支払が10万円くらいだが、前もって先に仕入れるというよりも、メーカーの代理をしている問屋なので、正に受注件数に比例した支払である。例年15万円くらい払っているところが、10万円もないくらいなので、休みを考慮したとしても非常に悪い。余り注文がない月であった（東京都）。
	×	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品がなかなか売れない。材料の仕入価格が上がっており、なかなか材料を買えない。
	×	建設業（経営者）	取引先の様子	・企業が設備投資をしようとしめない。
	×	通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・7月を底に持ち直しつつある（東京都）。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・2年前と同等の募集数に回復しつつある（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	それ以外	・派遣求人、求職者数は、ここ数月の動きに比べて鈍く、減少している。契約終了者も少なく、全体的に動きが余らない状況だが、派遣契約数、労働者数は微増している（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・エンジニア派遣事業において、製造業からの引き合いが増加傾向にある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前と同様に、人材不足を背景とした企業からの求人が多い。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・会社の業績等に大きな落ち込みなどの変化はないが、新型コロナウイルスの影響で外出や外食を控えているため、身の回りの消費動向が悪くなっている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は3か月前比120%強、前年同月比110%強と継続して回復傾向にある（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスに関する特需はあるものの、一過性のものであり、来年度予算に響くため、受注を控えている。取りに行くかどうかは責任者の判断である（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・派遣のニーズは相変わらず伸び悩んでいるが、期間限定の請負ニーズが増えてきている。人件費の固定化を避けている傾向がうかがえる（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は横ばいである。通常であれば10月からの求人が増えてくる時期だが、新型コロナウイルスのワクチン接種は供給が追いつかず遅れており、緊急事態宣言下でもあるため、鈍化傾向にある。
		求人情報誌制作会社（営業）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染者数の増加が原因に挙げられる。決して良いことではないが、現在の感染者数の増加に対して、人流が全く減っていない現状がある。人流が減っていないということは、その分経済が多少なりとも動いているということである。緊急事態宣言の効果が薄く、感染者数は増加するも経済も多少動く、という状況であれば、求人数が激減することはないが、増加するわけでもなく、そのままの推移である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（広報担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルス禍が収まる気配はないが、中途採用、新卒採用共に動きがある企業が、当社を含めて多いように感じる（東京都）。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が大きく増減しておらず、停滞感がある。新型コロナウイルスの影響で大きく打撃を受けた前年同期と比べても、回復に足踏みが感じられる（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・採用活動も夏休み状態で、企業は個別に学生に接触をしているが、新型コロナウイルスの感染が怖くて数名単位の絞り込みが行われている。既に来期を想定して準備をしているが、新型コロナウイルスの感染状況次第である（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・コールセンター等の派遣先で新型コロナウイルスのクラスターが発生して話題になっており、社内に感染が広がるのではないかと不安が広がっている。感染の終息を期待しつつ、現状での最低限の仕事をこなしている（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数は低めだが安定しており、改善する要素は余り見当たらないものの、安定的なニーズは続く（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・常に緊急事態宣言等が発出されている（東京都）。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・2か月連続で新規求職者数と新規求人数が前年同月を下回っている。特に、新規求人数は16%ほど落ち込んでおり、今年度に入り最大の下げ幅となっている。4月以降初めて紹介及び就職件数が前年同月を下回っている。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増え、募集どころではないという傾向がある。仕事も縮小している。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・最悪である。

## 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・通常は、相談があってから葬儀となるが、最近は飛び込みでの依頼が増えてきている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・8月は客単価も前年より向上しており、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・現在は猛暑で、やはり暑ければ売上は伸びる傾向なので、気温の低かった3か月前と比べるとやや良くなっており、有り難い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夏で暑くなってきたことで、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夏ということもあり、飲料の伸び率、買上点数が多い。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が各地で再発出され、急激に来客数が減少している。新型コロナウイルスのワクチン接種を終えた高齢者や少人数の家族客が、多くはないが来店している。今年の春先はまだワクチン接種が始まったばかりで、全く来店がなかったが、その頃とは微妙に状況が違っている。3か月前と比べれば絶対数ではやや改善しているものの、現在は予約が止まっており、キャンセルも増加している。週単位で見ると急激に悪い方向に向かっている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘需要の高まりから、成約に至るまでの期間が短く、成約率も上昇している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第5波による外出自粛、お盆時期中心の長雨等、50年を超える営業経験でも最悪の夏シーズンである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・今月は前半の降雨と冷夏で、エアコン等の動きが悪く、なかなか苦戦している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地方では新型コロナウイルスのワクチン接種もほぼ順調に進んでいるものの、人の動きは今一つである。イベント等で密になることもなく、開催も最小限で定着している。新型コロナウイルス禍での生活も定着し、消費意欲を高めることは難しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・前年比で売上は12%減、来客数は同17%減となっている。道路の拡幅で、目の前の居酒屋がなくなって半年が過ぎた。1日3回は来店してくれていたのに、残念である。そういう客が何人かいる。新型コロナウイルスの感染者数も増えてきて、前年より悪くなっているように思える。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスのり患率が上がっており、外出できない状態のまま、変わらない。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・当地区の新型コロナウイルス感染者数は増えてはいるが、それによって客の動きがどうこうということはない、今のところない。余り、以前と変わる条件はないので、変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・人が街に出てこない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・当県にも、まん延防止等重点措置が適用されたが、車検、一般整備は、今月の目標どりに推移している。ただし、車両販売は低迷している。新規顧客開拓アプローチはしているものの、この新型コロナウイルス禍では、非常に難しいと感じている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・前々年の新型コロナウイルス以前の売上と比べれば7割程度だが、本来、8月は繁忙期であるため、前年の3倍強と、今期一番の来客数と売上が確保できている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の拡大と、対応した生活が長期にわたっているためか、客の動きがほとんど止まっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・ここ数か月間で緩やかではあるものの、問合せが減少傾向にある。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・前年は夏季以降、徐々に来客数が回復傾向になったが、今年は緊急事態宣言の発出に加え、お盆期間の悪天候が直接集客減につながってしまっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・例年の夏休みは子供たちがクラブ活動や地域の集まり等で、野球やサッカーをしているが、今年はそうしたことが少なかったのか、新学期が始まって、今までのように新しく買換えようというような物が少ない。本当にこんな年は、久しぶりである。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月に入り、まん延防止等重点措置の対象地域となったため、来客数が大幅に減り、売上にかなり影響している。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・お盆の帰省は前年と同様に少なく、大雨もマイナスに影響している。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・東京オリンピックの終了と終息の見えない新型コロナウイルスの影響で、やや悪くなっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・季節的な要因や新型コロナウイルスの感染拡大で、売上、来客数共に、大幅に減少している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響で、新車供給が滞っている。納期の遅れや時期が読めない等で、新車需要の高まりに水を差す結果になっている。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・夏休みやお盆シーズンになったものの、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴って来客数が減り、前年比1割近く減少している。それに伴い、売上、客単価とも前年を割っている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出の影響もあるが、当店独自に、県内ナンバー車以外は店内飲食できないことを案内しているため、来客数が減っている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・営業時間の短縮要請が出ているので、良いも悪いもないが、大勢が来店しても困る状況で、景気判断ができない。支援金をもらって食いつないでいるだけである。お金をもらえているため、最悪ではない。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前月までは当県の新型コロナウイルス感染者数の減少により客足が戻りつつあった。しかし、前月末から感染者数が増加傾向になり、客足が大幅に減少している。また、県独自の飲食関係への営業時短要請で利用客は更に減少し、予約済み分にも多くのキャンセルが発生し、悪い方向に大きく進んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出による自粛の影響を受け、人流が止まっている。旅行の申込みと取消しが繰り返されている。3か月前には一時的に感染が収まりを見せ、回復に向かうと期待したものの、夏休みに入って再び感染者数が増加に転じ、夏の旅行取消しが先行し、収入は大きく減少している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・世間の声が、悪い状況に向かっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・物件依頼数は徐々に減ってきている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・客の気持ちの面で、食料品以外の買物は不要不急に該当するのだろうか、街への人出は全くない。当然、当店の売上もガタガタである。閉店や廃業が多くなって、ますます寂しくなる。
	×	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が、百貨店の主要顧客である中高年の来店を減らし、外出自粛がアパレルの売上減をもたらしている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの終息がみられない限り、駄目である。
	×	その他専門店【酒】（店長）	販売量の動き	・非常に悪い。新型コロナウイルス禍が始まって以来、悪くなっている。8月20日～9月12日まで、当県はまん延防止等重点措置が適用され、東京都の感染者数も、段々下がってはきているが依然として多く、当県も下げ止まり、高止まりの状況で、数が減らない。これが長引くと、飲食店は休業か時短営業が続くが、全く酒が動いていないので、非常に大変である。早く、感染者数が減って、飲食店が再開することを願っている。
	×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県から8月のお盆直前に、営業時間短縮や休業要請が発出され、一番の稼ぎ時に宴会等のキャンセル、延期が相次いだ。収束もみえないため、県からの要請期間が延長されるのか、いつ解除になるのかも分からない状況で、新規予約もない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・景気が良ければ即座に反応の出る飲食業のほか、サービス業の景気が悪いということは、現状ではイコール世の中全体が悪いということではないのかもしれない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・外出自粛要請で客が来ない。毎日本当に困っていて、どうしたらよいのか分からない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・8月に入り、新型コロナウイルスの感染者数の増加により、かなり来客数が落ちている。また、当市からの飲食店の営業時間短縮要請により、アルコールの提供が20時までとなり、当ホテルの売りであるビアガーデンの来客数が前月より20%落ちている。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の対象地域が拡大して以降、当然、観光客は大幅に減少している。今月は、1年で一番の書き入れ時だったが、大雨も影響して、惨たんたる結果になってしまっている。
	×	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、ゴルフコンペの予約キャンセルが相次いでいる。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・当県もまん延防止等重点措置の適用地域となり、また、8月のお盆期間中の集中的な大雨により、元気がなりかけたゴルフ場予約にもキャンセルが相次いでいる。
	×	その他レジャー施設【ボウリング場】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが全国的に感染拡大しているなか、当県も8月20日からまん延防止等重点措置の対象地域に追加され、不要不急の外出自粛の徹底、営業時間短縮要請等で、来客数が減少し、非常に厳しい。大規模接種会場の開設等でワクチンの接種率が上がって、経済にも良い方向に動き、景気が良くなって欲しい。
	×	その他サービス【貸切バス】（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染の警戒レベル5となったため、学校の部活や行事が全て中止となっている。それに伴い、全ての予約が取消しになっている。
企業動向		*	*	*
		*	*	*

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (甲信越)		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏休み期間に入ったため、体験ワークショップの来客者が多少増加している。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・全体の景況感はやや改善しているが、業種間格差が拡大している。製造業は大幅に改善する一方、非製造業は新型コロナウイルスの影響を受け、観光関連の低迷が続いている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染者数の拡大傾向が続いているなか、外出自粛等の影響で、取引先の観光業は厳しい状況が続いている。
		食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言発出の影響で、キャンセルや注文の取消し等が重なり、売上は回復してこない。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス後の景気回復を見越して、各メーカーでは仕込みをしている。依然として、業務用の需要減少や工場見学者の激減等で、大変厳しい環境にある。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響か、夏の猛暑のせいなのか、原因は特定できないものの、売上は前年より減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月、前々月に比べて、受注量のほか、見積件数も減っている。
		その他製造業 [ 宝石・貴金属 ]（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月はお盆時期ということもあり、催事はほとんど休み状態である。更に新型コロナウイルスの感染者数増加で、秋口の展示会や催事も延期や中止になっている。卸や小売も様子見状態で、売上は前年比で大幅ダウンである。前年は中止された国際宝飾展が9月開催のため、売上を回復させる予定だったが、それもまん延防止等重点措置発出を受け、県からの要請で延期になっている。展示会に向けて準備した商材も順次仕上がるなかで、在庫が増え、今後の調整が急務になっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お盆休みに入ったが、新型コロナウイルス禍で帰省ができず、契約ができなくなっている工事が出ている。
		新聞販売店 [ 広告 ]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域が増え、当県内でも飲食店関連の広告出稿が戻らない。
	x	*	*	*
雇用 関連 (甲信越)		-	-	-
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・半導体関連企業が、大きく業績を伸ばしている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、8月中旬以降、当地の警戒レベルは5となり、観光、宿泊、飲食業等は特に厳しい。予定していたイベントも次々に中止となり、広告関連の売上減少が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスが再び感染拡大したことにより、持ち直しのムードが不透明な見通しになり、再開し始めた小売や飲食店等の求人が鈍化したように感じる。
	x			・人材派遣会社（営業担当） 求職者数の動き ・新型コロナウイルス対策の助成金等事業に、市内で300名ほど、数か月の短期間採用されている。単価が高いので、人材不足が続く秋以降、仕事が減ることは承知の上で、取りあえずの生活費を稼ぐ仕事に就く方が多い。その後の心配も含んでいるので、年末年始の消費は減るだろう。

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		コンビニ（商品企画担当）	来客数の動き	・直近では、緊急事態宣言が発出されたものの人流はさほど宣言前と変わらず、世間一般の夏季休暇も重なり、行楽と思われる客層が想定以上に多い。特に土産品を主体に、売上が下げ止まり傾向にある。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・長期間の休みのなかで、絶対数の人出は3か月前と比較して上回っている。売上金額も同じ傾向にある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され飲食店や百貨店への時短営業や休業の要請により、日中の来客数が増えたため売上が前年を上回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（ブ ロック長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、内食需 要、家飲み需要が高まり、酒、おつまみや総菜が好調 に推移している。客単価も上昇している。スーパーに とっては追い風とみられる。
		乗用車販売店 （従業員）	それ以外	・全体的に商材の動きは悪くない。自粛疲れもあるか もしれないが、8月は例年少ない月であるにもかかわらず、問合せも割とあった。仕入価格も低くなく、全 体的によく動いているというイメージである。
		観光型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宴会は相変わらず飲食の伴わない会合ばかりで、売 上には全く寄与できていない。宿泊者数については、 3か月前よりは僅かながらに前年同月を超える月が続 いている。食堂の予約は、特にお盆期間に越県が抑え られるなかで、大人数の家族ぐるみ客の予約キャンセ ルが相次いだ。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・今月は一時的に良くなった感じである。
		美顔美容室（経 営者）	販売量の動き	・前月に引き続いてキャンペーンで人気商品のお買い 得感が強く、たくさん注文、購入があった。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大はまだ収まっていな い。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株により爆発的に新型コロ ナウイルスの新規感染者数が増えているため、状況が 改善するとは到底思えない。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	来客数の動き	・今年の夏は天候が悪く、お盆の売上も余り芳しくな かった。8月後半は新型コロナウイルスの感染者が急 激に増え、来客数はかなり減少している。
		一般小売店〔贈 答品〕（経営 者）	お客様の様子	・8月は当県でも新型コロナウイルスの感染状況が大 変厳しくなった。8月は、3か月前と比べて期待をし ていたのだが売上もやや悪く、3か月たっても全く変 わらない状況である。客の動向は、特に冠婚葬祭では 付き合いの幅が全く広がっていない。
		一般小売店〔書 店〕（営業担 当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も大きいですが、夏季の閑散 期に入っていることもあり受注が伸びない。
		百貨店（販売担 当）	来客数の動き	・減少していた客足はお盆辺りから増加した。期待し ていなかったお盆マーケットは、目的購入もあり比較 的好調であった。しかし、新規感染者数が増加し緊急 事態宣言が出されると決定して以降は激減した。
		スーパー（販売 担当）	来客数の動き	・来客数が減っている。
		スーパー（営業 企画）	お客様の様子	・感染状況により内食需要が変動しており、それに連 動する形で来客数と客単価が動く状況が続いている。
		スーパー（販売 担当）	競争相手の様子	・長雨が終わって客が戻ってきた感がある。
		コンビニ（本部 管理担当）	来客数の動き	・8月初旬は小売業界全体で売上好調なスタートとな り、見通しが明るかった。しかし、当県でも9月12日 まで緊急事態宣言が発出された。また、中旬以降は記 録的な大雨が続き売上にも打撃があった。結果的にコ ロナ禍であった前年の売上と同水準となり、景気の回 復を感じない結果となった。
		コンビニ（店 員）	来客数の動き	・お盆前後の長雨で、来客数が減った。
		衣料品専門店 （売場担当）	お客様の様子	・外商部の客については、購買意欲等に大きな変化が みられない。
		衣料品専門店 （販売企画担 当）	来客数の動き	・来客がほとんどない。緊急事態宣言が出る前、お盆 頃から本当にひどい。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響から車の生産が遅れ気味である。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・東京オリンピックの良い効果が、直近まではあっ た。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は最多を更新し、 緊急事態宣言も再発出され、新規来店者は一向に増え ない。とはいっても全くゼロにはならず、増えたり 減ったりする新規感染者数に誰もが慣れてしまってい るようで、来客数も販売数も数か月変わらない状況が 続いている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住関連専門店 (営業担当)	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、商業施設を中心に新設現場はもちろんのことリニューアル現場も延期になったり新設の発注が少ない。住宅については、リフォーム物件は出てきているが新築物件は少ない。
		その他専門店 [雑貨](店員)	それ以外	・コロナ禍拡大に伴う緊急事態宣言による時短要請で来客数が激減している。
		高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・コロナ禍のまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出で行動制限のあるなかで、店舗運営には苦慮している。本来、繁忙のお盆営業もランチ営業のみ若干の回復がみられるが、ディナー客からの移動にすぎない。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・また緊急事態宣言が発出される状況のなか、先行きも不透明で良くなるというイメージがない。
		その他飲食[仕出し] (経営者)	お客様の様子	・これだけ頻繁に緊急事態宣言などの縛りがあるなかでは、前向きな心理が働いてこない。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・夏休みは1年で最も売上的ある時期だが、2年連続で赤字続きである。前年はGo Toキャンペーンもあったので少し動きがあったが、今年はお盆休み直前に新規感染者数が増えてきてキャンセルも増え、近場のホテルはその日の感染状況で宿を予約しているので、旅行会社としては厳しい経営が続いている。当県にも緊急事態宣言が出るので、今は旅行に行く雰囲気ではない。感染拡大を食い止めるには、厳しい宣言を全国に発出してほしい。
		旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・依然、旅行の申込みがあっても感染拡大のためキャンセルされていく状況である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ほぼどん底であり、変わりようがない。
		その他レジャー施設[鉄道会社] (職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出となり、通学生のオンライン授業化や登校日延期等で通学定期の払戻しが発生している。
		その他サービス[介護サービス] (職員)	お客様の様子	・再び緊急事態宣言のなか営業しているが、客のワクチン接種状況も徐々に進んでいるため、門前払いといったことはほとんどない状況である。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・たまたま案件が集中しているだけで、仕事の量自体が増えているわけではない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量は横ばい状態である。コロナ禍の悪化により東海地方にも緊急事態宣言が出たので、これから影響が出てくるのではないかとと思われる。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・緊急事態宣言が出ているとはいえ、出掛けるところが限られるのか、今後の住環境を考える来場客はあった。
		その他住宅[不動産賃貸及び売買] (営業)	来客数の動き	・お盆明けから徐々に客足が増加したが、緊急事態宣言の発出に伴い横ばいになってしまった。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスや長雨などを理由にしたいくないが、この悪い状況を具体的に説明できるのはこれしかない。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・例年のことだがお盆期間中は来客数があり売上もそこそこ伸びるが、その前後が余り芳しくない。
		一般小売店[高級精肉] (常勤監査役)	販売量の動き	・ついに当県にも緊急事態宣言が発出された。雰囲気は非常に悪い。
		一般小売店[結納品] (経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出され、人が全く出てこない。
		スーパー(商品開発担当)	販売量の動き	・売上を前年と比較すると、新型コロナウイルスの影響を受けている前年の数値をやや割る見通しである。来客数も前年を割り、苦戦が続く。
		スーパー(販売担当)	販売量の動き	・日用品は前年の巣籠り需要が今年は少なく、主力の紙製品の販売量が伸びていない。マスクや消毒薬の販売量も一段落が続いている。
		コンビニ(企画担当)	販売量の動き	・8月前半は前年比でかなり回復傾向にあったが、中旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、徐々に鈍化してきた。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、客足が春先よりも下落している。月初めの来客数の動きは比較的好調だったが、お盆を境目に新型コロナウイルスの感染が広がった影響か、徐々に客足が減少している。特に夕夜間時間帯の落ち込みが大きくなってきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前半からお盆にかけての最盛期での悪天候の影響もあるが、来客数が大幅に減っている。客単価は向上しているがカバーし切れず売上は前年割れである。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・景気が悪く感じた要因は2つあり、1つ目は単純に天候の不順である。これほど連日雨天が続いては、外出減少と雨にぬれたくない客が車から降りなくなるため、ロードサイドのコンビニ店は厳しくなる。2つ目は、県内での新型コロナウイルス感染者数の激増である。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・周囲の飲食店が休業や時短営業をしているため、当店への来客数も夜6～7時以降は極端に減っている。
		衣料品専門店（売場担当）	来客数の動き	・来客数が少ない上に1人当たりの購入数、購入額が下がっている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出された。来客数が少なく、外出を控えているのかもしれない。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	来客数の動き	・8月は、天候の影響もあり例年と比べエアコンの売上が悪い。東京オリンピックや地上デジタル切替え後10年がたちテレビの買換えで客単価は上がっているが、来客数が少なく総売上は前年比で減少した。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・マレーシアのパンデミックなどで部品供給がストップし、ほとんどの車両で生産が止まっている。納期が大幅に遅延している。売りたくても売る車がない。8月は例年動きが少ないので、追い打ちを掛けられた状態である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車の販売台数が前年と比較して落ちており、8月は今年一番販売状況が厳しくなっている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・当県にも緊急事態宣言が発出され、新型車両が発表されたにもかかわらず客への適切なアピールのタイミングが取りづらくなってしまった。客の身近にも感染者が発生し心配する声が聞かれ、なかなか継続した販売促進が行いづらい。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・そもそも半導体不足で売る商品に限りがあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数増加で、来店者もさっぱりである。注文数が目標の7割ほどとなり、厳しい状況になっている。
		その他専門店【雑貨】（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出、ワクチン接種等、身辺が忙しくなっているのが買物どころではない感じで、売上、来客数共に低迷している。
		その他専門店【書籍】（店員）	来客数の動き	・8月は雨が多く東京オリンピックもあるため、比較的にいる人が多かった。新型コロナウイルスの新規感染者数も全国的に増えていたことと、外出する機会が全体的に少なくなっていたこともあり、例年と比べると売上は1割近く減少した。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・8月は、新型コロナウイルスの影響なのか自宅での東京オリンピック観戦で外出を控える傾向にあるのか、客の総来店の比率が前年と比べ減少した。
		その他飲食【ワイン輸入】（経営企画担当）	お客様の様子	・取引先の中には、緊急事態宣言の影響により事業の継続が困難となっている企業が始めた。好調な企業とそうでない企業との格差が激しく、全体としてはマイナスとなっている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月に入ってまん延防止等重点措置が当市にも適用され、また、緊急事態宣言も発出され不要不急の外出を控えるよう再三政府からの呼び掛けがあり、人流を抑えるということで来客数が大幅に減ってしまった。したがって、景気は悪くなっており来客数は減少傾向である。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・国体が中止になり、予約が全部キャンセルになった。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・再度の緊急事態宣言の発出により様々な消費が見直されており、特に旅行業は壊滅的といえる。電車等のダイヤの見直しは、消費の仕方をますます通販等に移行させる方向性を持っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数は例年レベルとなっているものの、新規契約者数は計画の7割程度とかなり苦戦している。特に客からの引き合いが大きく減少している。
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・アナログ回線の解約や、光回線の付加サービスの解約が増加している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言下で訪問活動を自粛している。客からもコロナ禍が落ち着いてからと先延ばしにされて、受注に結び付かない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・8月の天候不良、緊急事態宣言の影響で来客数が減少した。
		テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加で緊急事態宣言が発出された。イベントの時間を短縮することになった。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月はお盆休み中も含め雨の日がほとんどで、例年とは全く違う8月となった。入場者数は前年を大きく下回り散々な月となった。しかし、天候による影響が大きいと考え、景気の判断としてはやや悪いにとどめた。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・8月は本来なら忙しい時期であるが、皆外出を自粛しているようで来客数が少なかった。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が段々と増えてきて、来客数も少しずつ減ってきている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が公共交通機関を利用しなくなった。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大がいつまで続くのか、まだまだ長引きそうである。
		設計事務所（職員）	お客様の様子	・客との話のなかで景気に関して特に良くなる話はない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・少しずつ動き出してきた経済にまたブレーキが掛かった感じで、コロナ禍の影響が大きく、打合せも見積りも先送りされている。このままでは全く先の読めない状況である。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・緊急事態宣言により人の流れが更に悪くなり、売上も悪化の一途をたどっている。
	×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店でのアルコール販売自粛で休業する店がほとんどである。当社のような業務店向けが中心の酒販店では、販売量は9割以上の減少である。従業員はほとんど休みで、出勤調整をしても2時間で終了する。
	×	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	来客数の動き	・お盆休みの帰省客も少なかった上に、緊急事態宣言発出後は来客がほとんどない状態である。
	×	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・8月前半は、来客数はまばらだったがそれなりに売上はあった。男性の1人客が多かった。お盆になると家族連れが少し増えたが、前々年よりもにぎわうというほどではなかった。夕方6時になるとぼったり客が歩いていない状況が続いている。20日過ぎになるとほとんどの売場は客よりも従業員の方が多く感じ、売上は厳しい。
	×	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・夏休みや帰省時期でのまん延防止等重点措置や緊急事態宣言発出となり、来客数は大きく前々年比6割減少、売上も急減少の状況で、7月の上向き分を大きく消し去るような状況である。衣料品のフロアなど閑散としており、利幅の大きい商材が売れず、利益面からみても厳しい。
	×	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月に入ってから新型コロナウイルスの新規感染者数が激増し、企業における出勤・出張の抑制や、各家庭における飲食・レジャーを自粛する様子が強く感じられる。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・8日にまん延防止等重点措置適用となってから前年を上回っていた来客数が徐々に落ち始め、20日からの緊急事態宣言発出以降、前年から2～3割減少となっている。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当県もまん延防止等重点措置から緊急事態宣言になり、来客数がかなり減少した。
	×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・8月15日まではむしろ好調に推移していたが、爆発的な新規感染者数の増加で東海3県に緊急事態宣言が発出され、決定的に来客数が激減している。
	×	百貨店（計画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増えるにつれて、劇的に来客数の減少がみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用、緊急事態宣言の発出により、来客数・売上共に大幅に悪化している。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受けて、得意客の9割を占める集客スポットが9月12日まで閉店となり、大打撃である。
	×	スーパー（店員）	販売量の動き	・お盆商戦は近年に記憶がないほど全くの低水準の売上だった。まん延防止等重点措置で県を越えないように呼び掛けられ、帰省自粛による果物の売上減少、それに輪を掛けてお盆期間の長雨が大きく影響した。ただし、墓参りを重要視する日本人の特性なのか、生花は在庫が過剰に残ることはなかった。
	×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月はお盆の時期の長雨と、まん延防止等重点措置に続いての緊急事態宣言もあり、7月の売上から大きく下落してしまった。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、来客数が減少した。特に夜の減少が大きい。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスと異常な暑さで外出を控えているのか、店の前を人が歩いていない。パーゲンセール期間中にもかかわらず、一見客もほとんどなかった。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・稼ぎ時である8月上旬の長雨により建設関連の客の仕事が減り、そのために必要な小物や衣料の販売が振るわなかった。一般の客についても、外出自粛のため来客数減少となっている。
	×	その他専門店 【貴金属】（経営者）	来客数の動き	・県独自の緊急警戒宣言からまん延防止等重点措置、緊急事態宣言へと移行するにつれて、店前の通行者数も減少していった。特に当市は大都市に近いこともあってビジネスでの往来があることから、新型コロナウイルス新規感染者が急増したことによる影響が大きい。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・とにかく来客数が少ない。来たとしても酒1杯やビール1本で帰り、料理等を頼む客はほぼいない。
	×	一般レストラン 【居酒屋】（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の影響である。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えすぎて、皆お互いに行動を自粛しているようである。店としては、その方が逆に安心である。
	×	一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・8月8～19日はまん延防止等重点措置に従いアルコール提供全面禁止と20時までの時短営業、8月20日～9月12日までは緊急事態宣言に従い休業している。最悪である。
	×	都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、またイベントが中止になってしまった。なかなか難しい。
	×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第5波により、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行すると、宿泊の予約は激減した。宴会・会議も全てキャンセルとなった。レストランは、ランチが1日2組程度でディナーは予約がない。海外からの旅行者が皆無のなか、国の要請で大手企業の出張停止・会食停止が売上減少に拍車を掛けている。
	×	都市型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出によって飲食部門も全滅となった。宿泊の出張客も僅かで、ホテル全体で限界にきていると思われる。
	×	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出により、需要鈍化から停止状況にある。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・県の観光政策の一環として、日帰り旅行や宿泊旅行に補助金が出る商品が好評を得て販売量も増したが、新型コロナウイルスのまん延で政策が一時中断され、それ以降の旅行受付は皆無となり、今後の見通しも全く立っていない。
	×	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス第5波の急激な拡大による緊急事態宣言の地域拡大は、旅行業には更に大きな負債を及ぼしている。少ない旅行予約も全て取消しになり、コロナ禍でも実施していたスポーツ団体も延期・大会中止等で予定していた予約が取消しとなり、深刻な状況に拍車を掛けて更に深刻化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出され大変な状況になっている。新型コロナウイルス変異株の影響でお盆の帰省客や観光旅行者も少なく、街中も、特に高齢者などは不要不急の外出控えが続いているので非常に厳しい。緊急事態宣言のため再び酒類提供もできないので、ますます厳しい状態である。
	×	レジャーランド（職員）	来客数の動き	・8月上旬は好天候や3連休により前年より多くの来場があったが、最繁忙期に当たる中旬の長雨、下旬のまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出が相次ぎ、来場者が急減した。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言が出ている。
	×	観光名所（案内係）	それ以外	・緊急事態宣言発出で街中は静まり返っている。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きから景気は悪くなっていると判断した。
	×	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が急激に悪化しているため、消費者ばかりでなく事業主のマインドも冷え込んできているのが実感できる。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・当地でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてきたため、ワクチン接種をしても外出をするのが怖くて施術を控える客がいる。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍で来客数が減少し、売行きが悪くなっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・ウッドショックという言葉のとおり、卸売業から手元に届くまでに材料の価格高騰が続いている。
企業動向関連 (東海)		-	-	-
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・受注量が多く、夏季休暇を一部社員が返上して生産している。新規分野の調理器具が想定以上に好調で、原料の調達が間に合わない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米自動車向け設備投資では今まで止まっていたプロジェクトが再開するなど、引き合い、受注共に増えている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響はあるが、輸送機器関連が好調である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・材料の入手や物流面に課題はあるものの、製品需要はあるため、売上、利益についてはそれなりに確保できている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先業界では一時的に前月くらいから客足が戻り始めて、少し案件が発生したため、少し前よりは良くなっている。ただ、これから先はまだ分からない状態である。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・コロナ禍での緊急事態宣言にも慣れて、人流が減らない。周囲の人も余り気にせず外出している。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・大学の新生向け需要がここに来て増えてきている。学校活動の再開が進んでいるとのことである。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・8月前半の猛暑から中旬の長雨、豪雨災害、さらには新型コロナウイルスによる緊急事態宣言エリアの拡大など、厳しい環境が続く、消費マインドが落ち込んでいる。
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き半導体メーカー向けの電材需要でクリーン容器の出荷が好調である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・家庭内に置くインターネット通信機器の需要は多く、当分の間続くと思われる。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出されたが、仕事の受注自体については、増えてきたという話と作業が再びストップしたという話がこの1か月に出てきていることから、変わらないと推測している。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費財、生産財共に国内の物量が安定しているため、利益が出しやすい。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年と比較して物流量は増加しているが、前々年までの数値には届いていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3月以降は徐々にコロナ前の水準に戻りつつある。しかし、細かいところでは、荷主の業種によっては新型コロナウイルスによる影響のため仕事のキャンセルが度々発生しており、まだまだ安定していない。8月に入ってからの頻度は多くなってきた。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・輸出の効果でGDPは4%の伸びだが、個人消費はプラス0.8%という非常に弱い動きである。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言下であり、飲食関連業界、旅行・ホテル等の観光関連業界を中心に厳しさは増している。新型コロナウイルス感染の拡大が収まらず、景気が良くなる兆しはない。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・価格は徐々に戻りつつあり、問合せは一段落している。
		不動産業（開発担当）	競争相手の様子	・分譲住宅の状況について、売値に変化はないが、販売状況も変化がない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・本県でも東京オリンピック後、新型コロナウイルスの感染拡大によりまん延防止等重点措置から2度目の緊急事態宣言が発出され、例年のイベントや広告の一部がストップしている。
		行政書士	受注価格や販売	・前年より今年の売上が減少している業者が多い。
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・不況のなかではまずまずであったが、今まで好調であっただけに少し気が重い。まだ不況は始まったばかりだと考えている。営業マン、仕事先や競合先の全てが余り良くない。当社は14年ぶりの好決算であった。
		食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・受注量が前年比マイナスに落ち込んでいる。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (顧問)	受注量や販売量の動き	・東海3県にも緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染がどんどん拡大しているなか、半導体不足の問題等で景気は落ち込んで、やや悪い状況である。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルス第5波による緊急事態宣言により、人流と飲食店の営業が抑えられた。今回の発出で、秋に向けた行事なども中止やリモートを決定することとなる。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・鋼材は品不足と未曾有の値上げが続いており、今後の経済活動全体の大きな足かせとなる。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。販売競争は依然厳しく、価格を上げられない。
		金属製品製造業 (従業員)	それ以外	・鋼材を中心に幅広い素材の価格高騰と品不足が進んでおり、収益環境にマイナスであることは間違いない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月の売上は前月比でほぼ10%ダウンであった。稼働日数の関係もあるが、今後の見通しを聞くと生産調整等で減少傾向が見込まれる。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・また生産調整が入り生産量が減った。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカーが4割減産するというニュースが出ている。新型コロナウイルスの影響で東南アジアを供給源とする部品が手に入らないという。その影響で業績はこれから少し悪化すると考える。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・8月の来場者数、成約数は非常に悪かった。例年悪いが、特に今年は良くない。
		輸送業（エリア担当）	それ以外	・不動産販売会社から、ここに来てマンションの販売件数が停滞しており投資物件としての売上が足踏みしているような話を聞いた。先行きは余り景気が良くない前兆とも取れる。
		通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染状況の悪化による東海3県の緊急事態宣言発出により、モノとヒトの流れが冷え込んできた。必要最低限のモノの購入にとどまり、積極的な移動に伴う商品購入やサービス享受がされていない。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・都心の地下街だけでなく、大規模ターミナル駅の地下街でも閉店がチラホラある。地下街が栄えている当市で地下街がシャッター街になってくると、いよいよ新型コロナウイルス恐慌の幕開けとを感じる。より一層、財布のひもが固くなる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金融業（従業員）	取引先の様子	・緊急事態宣言下で、居酒屋等の飲食店は時短要請、アルコール提供停止要請で大変厳しい状況が続いている。通勤の人出も減っている印象を受ける。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨の日が多い上に、まん延防止等重点措置の影響もあり、外出や遠出する人が減少していると見受けられ、売上は前年を下回り厳しい状況になっている。
		公認会計士	それ以外	・中堅・中小企業の業績が悪化して、従業員の給与・ボーナスが上がっていない。コロナ禍で、消費者のマインドが落ち込んでいる。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店の営業時間が少し長くなったときは酒類も提供できるようになり、酒が飲めるようになったから来たという客の声があった。しかし、再び営業時間が短くなり酒類の提供ができなくなったことから、酒が注文できないなら帰るといった客もいるようだ。緊急事態宣言の延長の話も既に出ているようで、また景気は下り坂となる。
	x	金融業（従業員）	取引先の様子	・地元の自動車産業や関連部品製造業においては、これから勤務態勢が週1～2日の出勤になっていくようである。これまでからみると相当大変な体制になっており、景気としては余り良くない。
雇用 関連 (東海)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増加にもかかわらず、お盆の連休にはリゾートホテルの利用が増加した。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・所属する拠点のエンジニア稼働率は、5か月ぶりに90%まで回復している。また、主要客先での派遣の引き合い件数や業務開始件数も、3か月前からは増加している。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣求人数は前年比150%と回復にみえるものの、前々年比では70%となっている。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求職者数の動き	・新規求人数は前年比で増加傾向にある。好調な自動車関連において人材確保が急務となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月と比べ増加している。特に自動車受注数の増加により、自動車製造に関する業種での求人数の増加が顕著である。しかし、半導体の供給不足、新型コロナウイルス変異株の感染拡大等の不安要素があり、先行きが見通せない状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内では、新規求人件数が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が3か月連続して減少し、有効求職者のうち常用求職者が21か月ぶりに減少した。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で増加傾向にあり、企業の採用意欲が高まっている。
		職業安定所（次長）	求人数の動き	・職種別有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、多くの職種で上回っており、全体でも3か月連続で増加している。ただし、前年同月は既にコロナ禍の影響を受けており、前々年同月との比較では全体として大きく減少し、コロナ禍以前の水準には達していない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・景況感は業界ごとに違うが、主に製造業での景気回復を皮切りに、新規求人募集件数は増加傾向にある。
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・状況には変化がない。
		人材派遣会社（企画統括）	求人数の動き	・新規求人数が前年と同水準に落ち込んできている。また、新規採用を取りやめて社内調達で対応する企業が散見される。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が収まらず、様々な営業活動に影響がある。
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・東京オリンピック需要もなく、新型コロナウイルスとのにらみ合いが継続している。特に飲食店については、緊急事態宣言の再発出によって壊滅的な状況が続いている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・緊急事態宣言のためである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)		住宅販売会社 (営業)	お客様の様子	・商談数の高止まり状態が続いている。
		*	*	*
		スーパー（店 長）	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県独自の非常事態宣言が発出されている。飲食店が時短営業を実施するなど、内食需要は拡大しているとみられる。その一方で来店頻度の減少を感じる。単価は上昇しても来客数は減少しており、売上高の増加にはつながっていない。
		スーパー（総務 担当）	お客様の様子	・感染者数が多いままだが、新型コロナウイルスに慣れてきているようである。
		スーパー（仕入 担当）	販売量の動き	・ここ3か月の販売量において大きな変化がない。気温などの外的要因を除けば、変化がみられない。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・当店の売上だけ見れば随分改善し、前年よりも向上している。とはいえ新型コロナウイルス発生前の前々年と比べ8%ほど低下しており、影響はある。まん延防止等重点措置の適用中で、昼食をコンビニ弁当で済ますという考えの人が増えているようで、その点が一番の改善理由だと感じている。ただし、身の回りの景気という観点で考えた場合、業態における限定的な特需とみており、決して景気が良くなったのではないと考える。
		コンビニ（営 業）	来客数の動き	・来客数が横ばいで推移している。
		衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、外出自粛が求められるなかで来客数も売上も大幅に減少している。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・東京オリンピック需要があるとみていたテレビやBDレコーダーの売行きが平年と変わらない。
		乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・商談件数は引き続き好調に推移している。
		自動車備品販売 店（役員）	来客数の動き	・集客面では前年と比較して悪化している状況である。業種的にまん延防止等重点措置が適用されても影響は少ないとみていたが、日中の外出自粛なのか集客は大きく減少している。ただし、冬季用品の早期特売への反応は良く、少しでもお買い得に購入しようとする傾向は例年以上だとみている。
		住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・特に大きな変化は見当たらない。
		一般レストラン (統括)	それ以外	・変異株の発生により全国的に新型コロナウイルスの感染が広がり、各都道府県で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ている。それに伴い、営業時間の短縮や休業、アルコールの販売禁止等が長期間にわたって続いており、景気がいつから上向きになるのか、全く予測できない状況である。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・8月に入り新型コロナウイルスによる感染者数の増加と、大雨による天候不順で個人及び家族連れのキャンセルが多発したが、北信越インターハイが開催され前年並みには戻っている。しかし、新型コロナウイルス発生前と比べると50%程度の入込数と売上である。
		観光型旅館（ス タッフ）	来客数の動き	・県民宿泊割引の予約が7月16日より販売停止となり、Go To Travelキャンペーンも実施されていないので、厳しい状況が続いている。
	通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響による来客数の減少はみられない。ただ、財布のひもは固くなっているのか、販売数が低迷している。	
	通信会社（役 員）	販売量の動き	・3か月前と変わらず、放送、通信共に前年同期比でほぼ同レベルの契約者数で推移している。	
	通信会社（役 員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が大幅に減少している業種も見受けられるが、当社の放送と通信事業では、新規契約者数等は以前と比べ大きな変動はない。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルスの影響で受注が振るわなかったため、成績は前々年と比較しているが、業界も当社も前々年よりは数字を伸ばしている。厳しい中だが、受注を計上している。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響から人出が制限され、いつになったら状況が改善されるのか、先の見通しが立たない。ワクチンがある程度行き渡ればと期待を持っていたが、いつになったら行き渡るのか、行政の指導力がみえてこない。
		一般小売店[精肉](店長)	来客数の動き	・お盆は大して変わらなかった来客数が、百貨店の入場制限の報道が出てから、少し減少したようにみえる。
		一般小売店[鮮魚](役員)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置適用中のため、飲食店は昼の営業だけである。観光客も激減し、商売にならない。
		一般小売店[書籍](従業員)	来客数の動き	・外出を控える人が多く、ここ数ヶ月は来客数ダウンが続いている。
		百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用され、来客数が激減の状態である。また、首都圏のデパート地下街におけるクラスター発生の報道などが地方にも影響し、今まで影響を受けにくかった食品にも影響が出てきており、非常に苦戦を強いられている。
		百貨店(販売担当)	来客数の動き	・夏休みに入り予測以上に来客数が多く、お盆期間中は想定以上に増加した。県外からの客も多い実感があつた。しかし、購入には非常に慎重で、新しい物や事を扱う催事、食品関連は好調に推移したが、通常販売品の衣料品や雑貨は70%程度と苦戦している。中盤からは新型コロナウイルス感染者数が増加し、購入は更にシビアとなる一方、美術品やブランド品などの購入には活発な動きがある。来客数は伸びないながらも、高額商材に動きが出ている。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がひどくなり、来客数が減っている。
		コンビニ(営業)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、一層人の流れが悪くなっている。
		家電量販店(本部)	単価の動き	・来客数はともかく売上が厳しい。気温の影響もあって、特にエアコンが厳しい。
		乗用車販売店(経営者)	それ以外	・半導体不足の影響でメーカーからの入荷が大幅に減少している状況が続いている。今月は、売上が今期初めて前年を下回る月となっている。
		その他専門店[酒](経営者)	販売量の動き	・全国どこでも同じだと思うが、緊急事態宣言の発出で当店が商品を納めている商店も時短営業が強いられて、商品の動きが少なくなってきた状態である。この期間が長引かないように祈ることしかできない。
		高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・8月2日から9月12日まではまん延防止等重点措置地域に該当するため、酒類の提供ができず、営業時間が20時までである。夜は客が少ないため、部門によって平日の夜は閉鎖している状況である。
		一般レストラン(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、お盆以降は一段と悪くなっている。
		通信会社(店舗統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響があり、来客数が明らかに減っている。
		パチンコ店(経理)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数増加が影響しているとみている。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・変異株が増えてきており、特に夏休み明けの学校での感染が心配である。商店街の人出もめっきり減ってきている。
		住宅販売会社(従業員)	単価の動き	・ウッドショックのほか、鉄製品の価格も上がり、とうとう住宅価格の引上げをせざるを得ない状況になっている。他社は早々に値上げをしたところが多かったが、当社も約4%のアップを決定している。これからの契約が減ってくるとみている。
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置に加えてウッドショックによる木材高騰で、客の動きが鈍いようである。
	x	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスに猛暑、水害、近隣の大規模再開発工事など、悪い原因は幾らでも見つかるが、何が主たる原因なのか分からなくなるくらい来客数が減ってきている。例年、夏休み期間は高齢者の外出は少なくなる傾向だが、今年は特に堅調である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・ 8月2日からまん延防止等重点措置が適用され、前月より更に人通りがなくなっている。お盆休みは大雨で、お盆明け以降も1日の来客数が0～3人である。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店長）	来客数の動き	・ 県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が1日で100人を超え、客が危機感を持っているためか、来客数が減少している。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・ 8月2日にまん延防止等重点措置が適用され、外出を控える動きが加速し、来店客が大幅に減少している。月全体の売上高は、前年比でマイナス13%、前々年比でマイナス23%の見込みで、今年1月以来の低水準で推移している。
	×	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・ 前年と比べると来客数の減少分を買上点数で何とか上回っている。現状は固定客によって支えられており、それ以外の客は流動化している。
	×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・ 従来であれば、夏休みやお盆のある8月は、年間で最も売上が期待できる月である。しかし、市況の悪化から来客数は激減している。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染者数が過去最高を記録し、北陸3県で一番多くの感染者が出たため街に人がほとんど出ていない。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、感染への懸念から特に年齢が高くなるほど外出を自粛している。必然的に買物が縮小し、売上は減少している。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・ 中旬からエリア内の新型コロナウイルス感染者数の急増、県内の感染状況の悪化、まん延防止等重点措置の適用などにより、人々の行動自粛が顕著に表れており、来客数、販売量共に大きく影響を受けている。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・ 今月20日から9月12日までまん延防止等重点措置の適用となり、店は休業している。比較はできないが、今月19日までの来客数の動きは開店以来最低で、東京オリンピックやお盆休み、ワクチンの接種などの理由で来店しなかったのではないかと考える。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ まん延防止等重点措置の適用と新型コロナウイルスの感染者数の増加で、宿泊者数が更に少なくなっている。宴会もない。レストランも1店舗のみの営業で、5店舗は休業している。
	×	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・ 8月中旬以降予約キャンセルが出て、新規予約数は減少している。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ 県内にまん延防止等重点措置が適用され、県内割引のキャンペーンが全て中止になり、キャンセルが相次いでいる。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染がなかなか収まらない。まん延防止等重点措置が継続していることもあり、外出はなるべく避ける傾向である。営業マンの移動もなく、昼夜を問わずタクシー利用は低迷している。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・ まん延防止等重点措置の対象地域になってから、人の流れが極端に減少している。夜は完全に流れが止まっている。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響や緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置等の延長、夏の天候不順等で旅行客の数が大幅に減少しており、2～3か月前と比較しても厳しい状況である。
	×	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・ 新型コロナウイルスの第5波がきて、まん延防止等重点措置対象地域となり、少し盛り上がり始めた行動や活動が一気にしぼんでいる。スタッフの周囲にも、実際に感染の影響が出ており、複数の自宅待機者やPCR検査が必要なスタッフが出てきている。会員にも休会など、利用を見合わせる人が出てきている。公共施設や行政からの健康づくり事業は全てキャンセルになり、売上が大幅に減少している。
企業動向関連		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・ 2021年の初めからずっと受注金額は増えている。
(北陸)		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・ 家庭消費向けの市販用商品は引き続き堅調に、また、テイクアウト需要向け業務用商品は好調に推移している。さらに、海外向け受注も好調で、受注、販売面共にプラス材料が勝っている状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		繊維工業（総括）	受注量や販売量の動き	・国内のファッション衣料は依然として低調であるが、自動車用途やアウトドア関連は受注が回復している。海外のファッション衣料も回復してきている。企業によってばらつきはあるものの、新型コロナウイルス発生前の水準にまで回復した企業もある。ただし、自動車用途は半導体不足の影響が出ており、先行き不透明となっている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・現在の受注状況は、変わらずに推移している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からない状況や自動車減産の影響があり、今一つ回復に力強さが欠ける状態が続いている。
		建設業（経営者）	それ以外	・土木工事業がメインである当社の受注状況は前年同期と変わらず順調だが、移動を伴う旅行者、旅館業、飲食業などに関わる業種はコロナ禍で更なる打撃を被っている。まん延防止等重点措置が適用され、飲食業の営業は20時までで、酒類の提供ができなくなっている。
		輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大があり、前年比はクリアしたが、前々年比では依然としてマイナスとなっている。地場産業の繊維関係の荷動きは、新型コロナウイルス発生前の水準には戻っていない状況が続いている。
		通信業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・5月当初は徐々に上向き景気になると感じていたが、8月は新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出始め、思ったより販売量が伸びていない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・倒産や民事再生等が増えている。個人破産のケースも出始めている。年明けから経済活動が活発化していたこともあり3か月前からは持ち直してきたが、変異株による感染拡大で緊急事態宣言が延長となり、結局景気は変わっていない。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者からも、なかなか動かない状況が続いているという話を聞いている。
		司法書士	取引先の様子	・6月事業年度の会社の損益計算書が前年より悪いものが多くなっている。
		税理士（所長）	取引先の様子	・全体としては、新型コロナウイルスの影響で良くなったり悪くなったりである。日本は中国や東南アジアに部品を依存していることから、東南アジア等で新型コロナウイルスの感染が広がっていることもあり、電子機器で利用する半導体以外の細かい部品関係を扱う製造業において、部品の輸入が非常に滞っている。機械製造の受注ができてても完成につながらず、最近はその需給関係がマイナス要因として顕著になってきている。住宅関係はウッドショックの影響を厳しく受けており、受注が減少している。
	x	輸送業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
雇用関連 (北陸)		-	-	-
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・一部の求職者はワクチン接種完了後に期待し、長期に構えて活動している。
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・企業からの求人数が増えない。新型コロナウイルスによる影響が大きい。
		新聞社[求人広告]（担当者）	求人数の動き	・ここ数か月求人の動きに大きな変化はみられない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が若干減っている。
		新聞社[求人広告]（営業）	周辺企業の様子	・様々な業種の企業が、コロナ禍になって以来、最も元気のない感じがする。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・新規の紹介依頼及び派遣依頼の受注が減少している。新型コロナウイルスの感染拡大による影響があるとみている。
	x	-	-	-

## 8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		-	-	-
		一般小売店[雑貨]（店長）	販売量の動き	・たばこの値上げが10月にあるため、まとめ買いの需要が発生しつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(近畿)		百貨店(企画担当)	販売量の動き	・5月が緊急事態宣言による休業期間であったため、やや良くなっている。ただ、実際には前月、前々月と比べて、急速に悪化している。
		スーパー(経営者)	お客様の様子	・天候に比較的恵まれたほか、東京オリンピックの自宅観戦に伴う需要も伸びた。さらに、お盆休み中も新型コロナウイルスの感染が拡大し、雨の影響で遠出する人も大幅に減少した結果、本来悪天候は売上のマイナス要素となるが、プラスにつながった。月下旬は都市部だけでなく、郊外でも夜間の外食が減ったことで、夜の時間帯も好調に推移している。
		スーパー(企画担当)	お客様の様子	・8月は悪天候が続き、お盆の期間もともに雨の影響を受け、お盆用商材の売行きは悪かった。一方、ふだんから売れている総菜やパン、精肉などは堅調に推移している。また、緊急事態宣言が発出されたことで、備蓄アイテムがよく売れている。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・コロナ禍は続いているが、外出の自粛は言葉ばかりで、人の動きは旅行や買物などでかなり増えているように感じる。
		コンビニ(店員)	来客数の動き	・コロナ禍により、来客数の減少を予想していたが、減らずに増えているように感じる。客単価も上がってきている。客の様子からは、スーパーなどに出掛けるよりも、自宅から近い店で、すぐに食べられる商品を買うという便利さを選んでいると感じる。
		住関連専門店(店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響を受けない職業で、経済的にも余裕のありそうな年配客が増えている。しかも、手軽な物をまとめ買いするような買い方が増えている。
		その他小売[インターネット通販](オペレーター)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、再びパルスオキシメーターの注文や問合せが殺到している。
		観光型ホテル(経営者)	お客様の様子	・当地域では、8月中はずっと緊急事態宣言がまん延防止等重点措置が出されていたが、客も徐々にそれに慣れてきたと感じる。8月は新型コロナウイルスの発生前に比べて、約3分の1の販売量であったが、夏休みということもあり、今までよりも少し動きが出てきたと感じる。
		都市型ホテル(フロント)	来客数の動き	・高校野球が雨で順延となった影響で、関係者の宿泊がその分延びたほか、別のスポーツ大会も近隣で開催されたため、参加者の宿泊によって稼働率が上がっている。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・コロナ禍の収束が見通せない状況であるが、インターネットの利用などは相変わらず好調である。
		観光名所(経理担当)	販売量の動き	・3か月前は滋賀県に緊急事態宣言などが発出されておらず、現在はまん延防止等重点措置が適用されている点で違いがある。ただし、ゴールデンウィークに動きが集中する5月と比べ、夏休みはある程度分散されるため、多少は動いても問題ないという意識が広がっているように感じる。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・物販店舗の売上が2年前の50～60%で推移している。飲食店に対する協力は高額である一方、物販店への協力は少額であり、不満が多い。
		一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・東京オリンピックの終了後、連日の大雨で客足が遠のいた。新型コロナウイルスの感染者数も倍増しており、連日のマスコミ報道で客足が更に減少した。ワクチン接種を済ませた高齢者は増えているが、基本的に不要不急の外出は控えている様子は、会話の端々から感じられる。なるべく外出を控えるということは、客足の減少につながることを意味する。
		一般小売店[衣服](経営者)	販売量の動き	・バーゲンセールが始まった分、数か月前よりも販売量は増えているものの、景気が上向いている感覚は全くない。消費者の様子を見ても、シビアに買物をしているように感じられる。
	一般小売店[野菜](店長)	お客様の様子	・個人経営の飲食店は、ほとんどが給付金を受け取って休業しているが、飲食店への納入業者に対する補償は少なく、非常に厳しい状況が続いている。	
	一般小売店[呉服](店員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染は収束するどころか更に拡大しているため、客が来店しなくなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・お盆前からの長雨の影響で、飲料や果物といった水物商材の需要が伸びず、販売量が落ち込んでいる。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も緊急事態宣言が継続中であるが、化粧品や食料品の販売が好調に推移しているほか、来客数も好調である。売上も前年の実績を確保する傾向にあり、大きな変化はないと予想される。
		百貨店（販売推進担当）	来客数の動き	・8月上旬は、東京オリンピックの影響もあって来店の動きが鈍かったほか、中旬以降は百貨店での新型コロナウイルス感染症のクラスター関連報道を受けて、入場規制を行った。それに伴い、更に来客数が減っており、3か月前の水準に戻っている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が相当あり、大阪市の繁華街での人流の減少が、ここ2週間は明らかに感じられる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で、スーパーでの買物については、外食からの需要の流入という特需が続いている。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・お盆の時期は客も多く、果物、野菜共によく売れた。ただし、新型コロナウイルスの感染者数が増えているせいか、お盆が終われば平日の客が大きく減っている。一方、土日はまとめ買いの客が多い。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が延長となり、内食需要の増加が継続するなか、これまでよりも売上の若干の上積みがあった。東京オリンピックが開催され、家での観戦需要が多少の上乗せになったと感じられる。
		スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・外食から中食、内食へのシフトの傾向は変わらない。まとめ買いの動きは落ち着きつつあるが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、再び買上単価が上がっている。
		スーパー（社員）	販売量の動き	・当社の商圏である大阪と京都に緊急事態宣言が発出されたが、大半の店舗では来客数が前年よりも増えている。ただし、販売量は前年に大きく増加した反動で、今年は伸び悩んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行したため、居酒屋や外食店への配達がなくなっており、非常に厳しい。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・景気としては、コロナ禍で悪化したままである。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出前はテレワークが少なく、人流も少ない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大や長雨の影響で、客足が少ない。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・夏休みに入り、少し来客数が増えていたが、月中旬からの長雨で激減している。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・時間帯によっては来客数が若干減少しているが、新型コロナウイルスの感染者数が過去最高を更新している割に、その影響を受けている感覚は薄い。
		乗用車販売店（営業企画）	販売量の動き	・来客数は横ばいであり、忙しさが感じられない。
		乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、我慢するしかない。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・客が消費に前向きになれないことが、一番の悪化要因である。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の再発出に加えて、異常な長雨により、ガソリンの販売量は前年比で減少している。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響に加え、雨の被害などで野菜類の価格が高騰しているが、価格が高くても買う層と、高ければ買わない層は常に存在する。これは景気の変動要素ではなく、むしろ今月は、雨の被害からの復興事業による効果の方が大きい。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言の再発出や、対象範囲の拡大などで、外出を控える状況に戻る。生活必需品の需要に影響はないが、嗜好品や季節商材の需要は鈍化が予想される。
		一般レストラン（店員）	販売量の動き	・アルコール類が提供できないため、売上単価が低下している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言は発出されたが、人の動きは減らず、余り状況は変わっていない。
		都市型ホテル（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言は延長されたが、発出後も宿泊者数やレストランの来客数は余り減っていない。8月の稼働率は28%と、7月の39%から低下したが、6月とほぼ同じ水準である。レストランは、4月からディナーは休業している一方、ランチは春頃から平日のビジネス客の来店は安定している。ただし、土日や祝日の家族客やグループ客の来店は少し減っている。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出に伴い、消費が鈍化している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・外出自粛要請による実質的な効果は、夜間はそれなりに出ているが、日中はふだんどおりの人出となっている。客の乗車機会は、依然として減少傾向が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・外出の自粛モードにより、どうしてもタクシーに乗る必要がある人を除き、全く動きのない状況が続いている。
		観光名所（企画担当）	来客数の動き	・お盆の数日は来場者数が少し回復していたが、新型コロナウイルスの感染者数の急増により、再びダウンしている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・この状況では、回復までに時間が掛かる。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・分譲マンションの販売は、Webを中心とした商談後にモデルルームへ案内するなど、新型コロナウイルス対応を取り入れている。モデルルーム来場者の契約率は高まっており、販売は好調に推移している。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場への来場者数は、緊急事態宣言の発出で減少傾向にあるが、出展企業の契約件数は前年と変わらない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・新築マンションは供給量が少なく、市場としては需給バランスが取れた状況で推移している。一方、新築戸建て住宅は、好調であった販売が少し落ち着いてきた。全体としては、ウッドショックの影響が少しずつ出てきている。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	お客様の様子	・当社でもワクチンを接種した人が増えていない。予約が取れないままの人が多くなか、取引先からはワクチン接種済みの担当者を希望されることもあり、困っている状況である。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上が前年比で10%ダウンしている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は天候不順による季節商材の売上不調や、新型コロナウイルスの感染者数の増加で、来客数が減少している。それに伴い、売上は今月の目標、前年の水準共に下回りそうである。一部の富裕層を対象とした商品は好調であるが、大半の商品は苦戦している。客の消費を抑える傾向や、不要不急の商品の購入を控える傾向は、より一層鮮明となっている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・8月は新型コロナウイルスと長雨で、来客数が前年よりも減少している。お盆期間中はやや前年の水準に近づいたが、4度目の緊急事態宣言の発出後は、来客数が極端に減少している。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・富裕客中心の特選部門の動きは堅調であるが、緊急事態宣言による入店制限などの影響で、中間ボリューム層の売上回復は大きく後退した。食品部門ではレストランの売上が前年比で26%減少、菓子も5%減少となっている。また、天候要因もあるが、紳士や婦人服、雑貨関連も18%減少と大きく減っている。
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、前年比で来客数が大きく減少している。堅調であった食品の売上に大きく影響したほか、苦戦気味のファッション関連では天候不良も重なり、夏物商戦が不調となっている。
		百貨店（営業推進担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染者数の増加や、緊急事態宣言の発出に伴う外出自粛により、来客数の落ち込みが激しい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（店長）	販売量の動き	・前年の緊急事態宣言時と同じように、食料品以外の販売量が減っている。ワクチン接種が終わっても、新型コロナウイルスの感染者数の増加で経済活動が止まり、消費意欲が減退している。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスが猛威を振るっており、感染者数が過去最高を更新している。店頭でも入場制限などで感染対策を行っているため、来客数は減少している。富裕層による高額消費は続いているものの、売上全体は低調である。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大や、緊急事態宣言の発出もあり、目に見えて来客数は減少している。株高の影響で好調に推移していたラグジュアリーブランドも、苦戦の動きがみられる。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・8月20日から、京都ではまん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行した。それ以前から、新型コロナウイルス感染症へのおそれのほか、暑さや大雨によって来客数が伸びておらず、売上に悪影響が出ている。また、時期的に季節の端境期でもあり、秋物商材の早い仕掛けも、余り購買にはつながっていない。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・東京オリンピックの開催以降、新型コロナウイルスの感染が全国的に急拡大した。現状は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限により、購買意欲はかなり抑制されている。今年は雨が多かったため、猛暑や新型コロナウイルスの影響で不調となった前年も下回った。特に、都市型店舗は前々年比で6割弱の厳しい水準となっている。また、同業の商業施設で感染が多く発生した影響もあり、月後半は更に厳しい状況にある。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・衣料品や住関連品など、必要な物以外は買わない傾向が強くなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出による影響で、ショッピングセンター内の飲食店への来客数が激減している。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・悪天候が続き、来客数もかなり落ち込んだことで、売上も伸び悩んでいる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出中にお盆休みに入ったが、休みが終わって以降、来客数が前年比で16%の減少と、急激に減った。休みを機にテレワークが増えたようで、昼の時間帯の人出も少なくなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出で、在宅勤務者は一定の水準を維持しているほか、長雨の影響もあり、来客数は減少している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発出されたほか、例年よりも雨が長く、天候が悪かった影響が出ている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されている。3か月前には夏物商材の動きが少しみられたが、8月以降の酷暑やお盆前後の悪天候で来客数が激減し、苦戦している。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・価格が下がった場合や、故障などで買換えを急ぐ場合でも、購入がなかなか決まらない。客をみると、今まで以上に価格にはシビアで、来店する前に価格を調べてくる。ただし、以前と大きな変化を感じるのには、購入を希望する商品の在庫を、電話で事前に確認するケースが増えたことである。店頭販売であれば別の商品を提案できるが、電話ではそれができない。対面販売だと買わされる不安があるのか、非常に気になる。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出後も、来客数は前年並みであるが、成約までには至らない。やはりボーナスの減少による影響や、前年の特別定額給付金による販売増加の反動が、大きく出ているように感じる。
		家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・前線の停滞による長雨により、気温が上がらないうえ、エアコンなどの季節商材の売上が伸びない。巣籠り消費の反動減の影響もあり、東京オリンピックによる需要といえるような、売上がけん引する商品がない。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・滋賀県も、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行した。これに伴い、飲食業の取引先からは、前年とは違った経営上の厳しい様子がうかがえる。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発出されたため、販売数が増えていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・インターネットでの問合せ、店頭への来店共に減少している。
		その他専門店 [ドラッグストア]（店員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の延長や新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が毎日100人ほど減っている。特に、昼からは外出自粛の影響が、本当に生活必需品を必要としている人しか来ない。ただし、感染防止に関する消毒液やマスクなどの売行きは良い。
		その他小売 [インターネット通販]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に加え、外出自粛や猛暑によって来客数が減少しており、打つ手が無い状態である。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・外出の自粛や長雨の影響もあり、遠出を避ける人が増えた。最終的には、直前に予約が満席になることも多かったが、お盆明けからは再び自粛ムードが高まり、予約のキャンセルも幾つか発生している。
		一般レストラン（企画）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出や東京オリンピックの開催、長雨の影響などで、売上の前年比はここ3か月では最低となった。減少率は、前月よりも10ポイント悪化している。
		観光型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、来客数の減少が止まらない。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・酒類の販売ができないため、来客数が減っている。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が再び適用され、キャンセルが増えた。さらに、緊急事態宣言が再発出されたことで、キャンセルの動きが加速している。緊急事態宣言の解除と発出が繰り返されることで、現場も混乱している。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・ベトナムでのロックダウンにより、取引先の工場が操業停止となっている。
		通信会社（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が更にひどくなり、休業する店舗や閉店の動きもみられる。周りのビルにも空きテナントが増えている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出前の8月上旬は、まだ回復基調にあったが、当然ながら発出後は来場者数が激減している。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	来客数の動き	・コロナ禍の影響に加え、8月の長雨によって苦戦している。
		美容室（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出によりキャンセルが非常に増えている。ただし、急に来客があった場合に備えて、商品の仕入れは必要であるため、経営は非常に苦しい。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で、客の動きが鈍くなっている。
		住宅販売会社（総務担当）	販売量の動き	・度重なる緊急事態宣言で、客との商談に時間が掛かり、売上は前年比で微減の状態である。
	×	一般小売店 [花]（経営者）	お客様の様子	・度重なる緊急事態宣言の発出で、得意先や飲食店はほとんどが休業しているため、取引のある企業は大変そうである。仕事をしなくてもない状況では、景気は悪化する一方である。
	×	一般小売店 [花]（店長）	それ以外	・コロナ禍の影響が出ている。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大や、百貨店のデパ地下での感染の報道により、一気に来客数が減少している。今月25日までで、来客数は前年比11.2%減少、店頭売上は3.4%減少と、非常に厳しい状況が続いている。大阪府では引き続き感染拡大が続いており、出口がみえにくい状況にある。
	×	百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大で、特にデパ地下が危ないとの報道もあるため、百貨店を避ける人が増えていると感じる。来客数は前年比で7%台の減少、前々年比では40%台の減少と悪化している。
	×	百貨店（宣伝担当）	それ以外	・今回の緊急事態宣言では百貨店への休業要請はなかったものの、一部店舗での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生が報道されてから、来客数が極端に減っている。報道をみて、全ての百貨店の地下フロアが閉まっていると勘違いしている客も多い。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・来客数の動きは、新型コロナウイルス発生前と比較し、5月は18.2%の減少で、6月は14.0%の減少、7月は12.4%の減少と回復傾向にあったが、8月は感染の拡大によって悪化し、25.5%の減少と急激に落ち込んでいる。
	×	百貨店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、消費マインドが低下している。
	×	百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・前回の緊急事態宣言の際は、休業期間中にはオンラインでの需要があり、休業明けには客の高い購買意欲がみられた。一方、今回は新型コロナウイルス変異株の感染拡大による影響のほか、百貨店でクラスター発生といったネガティブな情報が多く、8月に入って購買意欲のある客の来店が急激に減少している。
	×	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・8月に入って、来客数が前年比で77%とかなり落ち込んでいる。これは長雨による影響だけではない。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・7月末から新型コロナウイルスの感染者数が激増したことで、来客数が激減している。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと行い、国民に買物に行くように政府から促してもらわなければ、小売業者や卸売業者はどんどん廃業することになる。
	×	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の延長や、新型コロナウイルスの感染者数の激増で、商業施設への集客に影響が出ている。家電量販店も同様であり、前年の特別定額給付金に相当する対策がなければ、かなり厳しい状況である。
	×	住関連専門店（店員）	それ以外	・コロナ禍でどんどん周囲が厳しい状況に立たされているなか、打開策が全く立てられていない状況で、良くなるわけがない。
	×	その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が続く限り、売上は減少する。
	×	その他専門店 〔宝飾品〕（販売担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言を繰り返すなかで、客足は伸びていない。家計に余裕のある層は、このような時期に購入しなくても、もっと良いタイミングで購入する。最近の来店客は、低額品の購入か、ローンが通らないような人といったケースが多少ある。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、飲食店の営業は厳しい状況が続いている。ウィズコロナといわれているが、感染と飲食との関係が大々的にいわれているため、経営の存続や景気回復に向けた糸口がなかなか見当たらない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されてから、商店街の人通りが一気に少なくなった。近隣の店舗も酒類を提供できないため、臨時休業している店が多い。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言の発出で再び失速している。あちこちで道路や駐車場も閉鎖されるなど、どうしようもない状態である。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染対策として、感染率が低い地域内で経済を循環させる、宿泊の県民割制度が、感染拡大によって停止している。当県でもその影響は大きく、売上が減少している。
	×	都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により予約のキャンセルが多く、間際化している予約の入込も鈍っている。
	×	旅行代理店（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が延長になり、対象の都道府県も増えるなか、一向に客が戻ってくる気配はない。
	×	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの長引く感染拡大が最大の要因であり、政府の感染対策とワクチン接種の順序がおかしいことが、更なるブレーキとなっている。
	×	旅行代理店（役員）	それ以外	・緊急事態宣言が兵庫だけでなく近隣府県にも発出されたため、全く需要がない。旅行業界では1年半にわたって海外旅行の需要もなく、ひん死の状況が続いている。
	×	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大があり、いつ収束するのが客にも見通せない。ワクチンの接種が進み、東京オリンピックが終わる頃には、先行きの見通しが立つと考えていただけに落胆が大きい。感染が落ち着けば、旅行に行きたいという声は多いが、行動には全くつながっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	タクシー運転手	乗客数の動き	・タクシーについては、昼は様々な目的で利用されるが、夜は基本的に飲酒に伴う利用となる。今回の緊急事態宣言の発出では、一部の業種だけが補償され、タクシーのような業種には目もくれない。これでは事業は成り立たない。
	x	その他レジャー施設 [ 複合商業施設 ] (職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの急激な感染拡大や、医療体制のひっ迫に関する報道により、消費マインドが確実に低下している。
企業 動向 関連  (近畿)		*	*	*
		食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・お盆期間中も大雨が続き、その後は緊急事態宣言の発出で、自宅で過ごす時間が長くなったせいか、家庭用製品の販売量が増加した。業務用は苦戦しているが、全体的にプラスになっている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・マスメディアからの情報は、圧倒的にコロナ禍関連が中心であり、社会が壊滅するかなのような脅威が感じられる。その一方、エレクトロニクス業界は好景気に湧いており、その格差を奇妙に感じている。半導体さままであるが、いつまでこの現象が続くのかは分からない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	取引先の様子	・月末になると、在庫調整を始める取引先が多い。
		出版・印刷・同関連産業 (企画営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による、各社のコスト削減の動きが強く、受注量の減少が続いている。
		プラスチック製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・雰囲気は悪くないが、実体が伴っていない。引き合いや案件の数は増えているが、見積りの提示や打合せのみで終わっている。期待感はあるが、受注につながる確率は低そうである。
		窯業・土石製品製造業 (管理担当)	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量の動きに、3か月前と比べて大きな変化はない。新型コロナウイルス変異株の感染拡大などで明るい材料はないが、大きな変化はみられない。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・半導体不足という問題があるなか、自動車関連を中心に活発な荷動きがある。
		金属製品製造業 (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・原材料の鋼材価格が値上がりしており、販売価格への転嫁に苦労している。
		一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社には鉄鋼関連の製造業の取引先が多いが、投資案件が激減している。その結果、売上は大きく減少したままである。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・売上は増えておらず、横ばい状態である。
		輸送用機械器具製造業 (役員)	取引先の様子	・搬送設備の新規受注が進まない。補充品や遊休設備のメンテナンスのほか、通信関連の設備関連は発注が少し増えているが、収益の増加にはつながらない。
		建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・上向きでも、下向きでもなく、こう着状態にある。問合せや案件の相談はあるが、その後の進捗は悪く、なかなか成約するまでには至らない。
		建設業 (経営者)	取引先の様子	・新型コロナウイルスによる影響の大きな取引先と、影響の小さな取引先がある。そのなかでも体力のある企業は、先を見据えて、粛々と設備投資を行っている。
		建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の単価、案件数共に悪化している。
		金融業 (副支店長)	取引先の様子	・取引先との会話では、コロナ禍が始まった当初から、受注などの状況は変わっていない。
		金融業 (営業担当)	それ以外	・関西での新型コロナウイルスの感染者数の増加が、飲食店のほか、神社仏閣の周辺の土産販売店に大きな影響を与えている。
		広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・紙媒体、Web媒体共に、広告の売上は前年を上回っているが、2年前の水準は下回っている。
		広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の延長でイベントや興行が中止となり、交通関連の広告もなくなったままである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・消費者に直面して商品を販売していた中小零細の取引先は、どこも存続の危機にある。一方、ネット販売を展開している企業や、オリジナル商品を持っている企業は、多少なりとも売上を回復させている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス [自動車修理] (経営者)	取引先の様子	・この状況では、良い業況になることはない。
		その他非製造業 [商社](営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・引き合いは増えてきたように感じるが、緊急事態宣言の延長や拡大の判断のほか、その後の影響については見通せない。
		繊維工業(総務 担当)	それ以外	・緊急事態宣言下での催事への参加は、消費者、販売員共にリスクが大きいと、全てが控えめな行動になっている。販売が伸びない状況で、今後が不安である。
		化学工業(管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・車載向けの製品で、出荷量が減少し始めている。
		電気機械器具製 造業(宣伝担 当)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言や、大雨、気温の低下といった影響もあり、エアコンの売上は前年、前々年を大幅に割り込む状況で、その他の商品も低調な荷動きとなっている。
		金融業[投資運 用業](代表)	それ以外	・緊急事態宣言が発出され、一部の業種で営業活動が制限されている。やはり新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、自由な経済活動ができない限り、景気が回復することはない。
		経営コンサル タート	受注量や販売量 の動き	・コンサルタントであり、顧客企業には小売業が多いが、一向に良くならない。新型コロナウイルスの影響ということは明らかであるが、客の出足も悪く、商品が売れない状態が続いている。
		その他サービ ス[店舗開発] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・駅ナカ店舗にとって、お盆商戦は上期最大の繁忙期であるが、今年は全くと言ってよいほど振るわなかった。帰省の自粛による影響は計り知れず、更に追い打ちを掛けるように大雨に見舞われた影響が大きい。
	×	繊維工業(団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・緊急事態宣言の発出や期間の延長、対象地域の拡大などで、商品の動きが止まっている。
	×	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・毎回の傾向として、緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大が行われると、2か月程度のタイムラグを経て、受注や販売額が大きく減少する。
	×	輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・4か月連続で売上が落ちている。
	×	不動産業(営業 担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、事務所や店舗の解約が止まらない。小さい物件から大きい物件まで、事務所や店舗にも解約が出ている。
	×	その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・緊急事態宣言が長引いており、営業活動ができないため、非常に悪い状況に陥っている。
	×	その他非製造業 [民間放送] (従業員)	取引先の様子	・緊急事態宣言の延長や政府に対する不信感などで、勢いのない状態が2年近く続いている。もはやコロナ禍以前の状態に戻れる気がしない。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・派遣関連の求人では、増員となる案件が増えている。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・採用数がかなり増えてきている。
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・8月に入って、下半期の環境関係の入札はほぼ終わりつつあり、予想どおり価格、ボリューム共に前年を上回っている。ただし、民間の案件はコロナ禍が一層悪化している現状では力強さがなく、このまま上半期が終わりそうである。
		人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・3か月前と比べて、求人数の動きは良くもなく、悪くもないと感じる。
		新聞社[求人広 告](営業担 当)	周辺企業の様子	・全国的に緊急事態宣言が広がっており、新型コロナウイルスの感染者数もどんどん増えているなかで、対面での打合せなどを避ける企業が増えている。このような状況が続く限り、景気も大きくは回復しない。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人は底堅く推移しており、製造業では電気機械製造の一部で改善がみられる。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・大阪のハローワークでは、新規求職者数が季節調整値で前月比プラス22.6%と大幅に増加した。7月から自治体で申請受付が始まった、生活困窮者自立支援金の申請に伴う、ハローワークへの新規登録者が目立っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・求人数については、新型コロナウイルスの発生前から減少傾向にあり、直近でも大きな変化はない。前年と比べるとオンラインでの採用活動を前提に企業も動いているため、緊急事態宣言の発出前後で大きな変化はない。新卒学生の求職者は、例年この時期まで内定が取れず、焦る学生が出てくることから、大学での支援や企業説明会が企画されている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・コロナ禍での特需による求人数の増加で、引き続き景気は良い。それに加え、通常の派遣の求人数も徐々に増えてきている。
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大で様々な規制が強化されており、経済活動が停滞している。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・飲食や旅行、ホテル、航空、鉄道など、人流に関わる業種はコロナ禍の影響が続いており、求人数は全く戻っていない。今回の緊急事態宣言が期間、地域共に拡大していることが、この状況に拍車を掛けている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数は緊急事態宣言の発出のたびに減少しているが、今回も例外ではなく、8月20日以降は前年比でマイナスとなっている。今回の特徴は、人流の減少によるものではなく、新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、求職活動そのものを先延ばしする動きが顕著である。求人への動きも低調となることで充足が進み、求職者の成約も難しくなっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・緊急事態宣言の対象地域が大幅に増えるなか、少しであるが人出は減っているように感じられる。地下街などの繁華街も、午後8時半を過ぎると閑散としている。これにより経済活動には大きな影響が出ている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、関西の地元企業からの新聞広告の出稿が激減している。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・採用活動を継続している企業でも、学生の選別が厳しく、なかなか内定の段階まで進まない。目標採用人数に達しなくても、採用活動を終了するケースも出てきている。

## 9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・G3競走が2回開催されたことなどから、売上が良くなっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月に入り、来客数が2019年の数値近くまで回復してきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々の動きが良くなっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数や問合せ件数が若干上昇している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・人の動きが悪いのが関係しているのか、商店街を通行する人の数も少なく、売上也影響を受けている。また、最近、老舗の店舗が閉店している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの変異株のまん延で、地方でも感染者数が増加しているため、せっかく戻ってきた人通りが少なくなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が続き、景気が上向き気配がない。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・地方でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため、買物を控える人が多くなっている。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	お客様の様子	・百貨店の催事に出店したが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来客数が激減しており、売上が見込みを大幅に下回っている。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・豪雨や新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、売上は前年をやや下回る見込みだが、寝具や美術品など高額品は好調である。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の陶芸品や現代アート作品などが売れ、百万円のエステのコースなども組まれている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は上昇しているが、来客数は2～3か月前から変化がない。
	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数の頭打ちが起こっており、特に売上の見込める夕方以降の来客数が伸び悩んでいる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・27～29日に開催した展示会には、結構、客が集まり、買物をしている。
		衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響により、人々が外出しないことが普通になり、来客数の減少が続いている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は以前と変わっていない。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・景気が良くなってきたが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が景気回復のマイナス要因となり、売上が減少するのではと心配している。
		その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・夏季催事などで客が若干戻ってきている感じはある。ただ、新型コロナウイルス感染の脅威が高まっており、客が人の多い場所に行くことへの危機感を持っており、混雑の問合せも多い。目的買いの客が多く、ついで買いの客が少ない状況で、客の財布のひもも固くなっている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・8月4日からの再度の時短営業に加え、20日からはまん延防止等重点措置の適用で酒類の提供もできなくなった。お酒が出せないことにより、来客数は更に減少、新型コロナウイルス流行前の3割程度になっている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、旅行需要は引き続き低迷している。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、感染拡大に歯止めが掛からないため、旅行需要は回復しない。
		放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料金の延滞に大幅な変動はない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、日常の変化はなく、景気も横ばい状態である。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の終息や東京オリンピック開催の経済効果を期待したが、結果的に新型コロナウイルスの変異株が広がり、我慢の生活の続行を受け入れざるを得なくなっている。サービスや商品のPR効果も少なく、低いままである。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・東京オリンピック開催で景気が上向くことを期待していたが、新型コロナウイルス禍での不安定な生活が続いているため、景気は変化していない。
		観光名所（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月21日～9月12日まで臨時休館となっている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が再度発出され、引き合いの減少に更に追い打ちを掛けている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・ウッドショックで材木のコストが5割も高くなり、建築費全体のコストまで影響が出ている。民間工事については、客が様子見をしている状況である。
		商店街（代表者）	単価の動き	・客がどうしても必要な商品しか購入しない。
		一般小売店 [茶]（経営者）	販売量の動き	・前年は途中で中止となったものの、Go Toキャンペーン等のキャンペーンがあったが、今年は何もないため、売上が減少している。
		一般小売店[食品]（経営者）	来客数の動き	・お中元、お盆商戦を通じて来客数が低迷しており、来客数、売上共に前年を下回っている。
		一般小売店[印章]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、人々が休日でも遊びに行けず、生活自体に活気がなく、消費にも影響が出ている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・8月中旬以降、県内で新型コロナウイルスの感染が拡大したため、来客数が目に見えて減少している。百貨店でのクラスター発生報道が影響しているのか、客が全体的に自粛ムードで、衣料品の動きがかなり鈍くなっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・県内、市内での新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあるため、来客数が顕著に減少している。また、外出の機会がないため、衣料品を購入する必要がないという客の声が多く、来客数の減少や客単価の低下につながっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・両隣の県で緊急事態宣言発出となり、今までであれば、県外から訪れていた買物客が、今回は外出そのものを控えているようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・8月に入り、県内でも新型コロナウイルスの感染者数が急増し、前月と比べ、来客数、売上共に明らかに厳しくなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・お盆期間は本来であれば、来客数や売上が増加するのだが、新型コロナウイルスや長雨の影響で、やや悪くなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・天候不順で、3か月前と比べ、販売量が落ち込んでいる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・天候不順の影響もあり、来客数が減少し、売上も低迷している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・前年と違い、客の来店頻度が低下傾向にある。夏休み、お盆期間も前年と比べ、来客数、販売点数共に減少している。天候の問題もあるが、客が、週末や割引デーに集中する傾向があり、まとめ買いの量も増加していない。新型コロナウイルスの感染者数が増加し、行楽、帰省も含め、客の外出が減少しているため、夏季の消費増加につながっていない状況である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比86%で、3か月前と比べても5%減少している状況である。新型コロナウイルスの感染者数の増加により、客の来店頻度が下がっており、来店しても無駄な買物はしない傾向にある。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・長雨の影響で来客数、販売量共に落ち込んでいる。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客が店に買物に行くのも敬遠しているような雰囲気がある。大雨の影響で野菜関係の価格が高騰し、販売量が伸びない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・客単価は前年を上回っているが、来客数や売上は前年を下回っている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・買上点数が減少し、客単価も徐々に低下している。
		コンビニ（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による生活様式の変化に伴い、客が外食や外出を控える生活が定着している。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、来客数が急減し、売上も減少している。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数や売上が前年の7割程度まで落ち込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・1か月前くらいから来客数が減少し、納期が掛かることが原因で、新車販売もやや落ち込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は戻りつつあるが、新型コロナウイルスの感染拡大や半導体不足等のダメージが大きく、非常に厳しい状態である。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・8月の販売台数は前年比86%と大変厳しい状況である。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、来客数が減少している。
		その他専門店【布地】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、来客数が減少している。
		その他専門店【土産物】（経営者）	来客数の動き	・お盆時期の天候不順と新型コロナウイルスの感染再拡大で、来客数が減少している。雇用を維持することが段々と難しくなっている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・時間帯、曜日に関係なく、来客数がかかり減少している。客が外食をすることが感染拡大につながるのではないかといった罪悪感を持っているようである。
		バー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出され、今が最悪の状況である。特に夜は人出がなく、営業所の運転手も30名近く休んでいる。
		通信会社（広報担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が発出され、動きは鈍くなっている。
		通信会社（販売企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、人々が外出を自粛しているため、景気はやや悪くなっている。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で、景気はやや悪くなっている。
		テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対するメッセージ性のない利己的な政府の対応の影響で、景気はやや悪くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大やお盆前後の長雨の影響で、景気はやや悪くなっている。
		住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の影響で、来客数が減少している。
		住宅販売会社 (営業所長)	販売量の動き	・情報数や検討者数が減少している。新型コロナウイルスのまん延による先行きへの不安感で、将来設計する時期としては不確定要素が多い。起爆剤となる支援策も乏しくきっかけがない。
	×	商店街(理事)	来客数の動き	・新型コロナウイルスや長雨の影響で、客が買物する意欲を失っている。
	×	一般小売店[洋裁 附属品](経営者)	来客数の動き	・人の流れも良くなっていないし、売上も伸びていない。
	×	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で、来客数が激減している。
	×	百貨店(営業企画担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、今後の催事開催だけでなく、営業もできなくなる可能性もある。アパレルを中心に売上の減少が続いており、百貨店でのクラスター感染報道もあり、高齢者の来客数も減少傾向が続いている。
	×	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大やお盆期間の長雨の影響で、来客数や売上が落ち込んでいる。
	×	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・7月の終わりから県内で新型コロナウイルスのクラスターが発生したため、来客数は新型コロナウイルス発生以降で最も落ち込んでいる。
	×	家電量販店(店長)	販売量の動き	・来客数は前年比85%、売上は前年比70%割れと激減している。
	×	家電量販店(販売担当)	販売量の動き	・商品が全く売れない。
	×	その他専門店 [和菓子](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きく、景気は悪くなっている。
	×	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	来客数の動き	・来客数や売上の動向は、新型コロナウイルスの感染者数の動向に左右されている。3か月前は、感染者数の減少とともに来客数も回復傾向にあったが、現在は再び感染者が急増している状況で、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用で、客も再度自粛を余儀なくされている。
	×	高級レストラン (事業戦略担当)	来客数の動き	・県独自の感染対策やまん延防止等重点措置の適用で、レジャーや外食には厳しい環境が続いている。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・8月の第1週は好調であったが、県内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、感染者数が過去最多となったことから、お盆明けに売上が急激に減少している。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・もうこれ以上悪くなることはないと思っていた景気が更に悪化している。
	×	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数の動きが非常に悪い。まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出で、動きがますます悪くなっている。
	×	観光型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・8月中旬よりまん延防止等重点措置が適用されたため、温泉やレストランの営業ができなくなり、日帰り利用客の売上がなくなっている。
	×	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の流れが更に悪くなっている。
	×	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・自治体の県内需要喚起策が打ち出され、何とか宿泊需要を取り戻しつつあったが、まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出などの影響で需要喚起策も中止になり、状況は元に戻っている。特に大きなスポーツ大会などに伴う宿泊や宴会が軒並みキャンセルとなっている。
	×	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域の拡大により、予約のキャンセル、延期、伸び悩みが起こり、景気は悪くなっている。
	×	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、旅行どころではなくなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、夜の乗車率が悪い。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、夜だけでなく、日中も乗車率がかなり悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加していることやお盆を中心に天候不順が続いたことから、キャンセルが増加している。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・今月は雨の日が多く、新型コロナウイルスの感染も拡大したので、客が外出を自粛している。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が激増し、来客数や売上が減少している。
企業 動向 関連  (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス禍で、依然として厳しい状況にはあるが、景気は良くなっている。
		繊維工業（監査担当）	受注量や販売量の動き	・今までがかなり悪かったので、景気は徐々に回復してきた感じである。懸案の価格改定が受け入れられたことを考えると、市場の動きは活発になりつつある。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け生産が多くなっており、納入時期の集中もあって生産現場は多忙な状態となっている。
		鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷動き自体は良好ではないが、販売価格は上向いている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・半導体不足の影響で低迷しているが、それ以外は徐々に回復している。
		会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・人手不足を背景に、事務系アウトソーシング業務の受託が増加している。RPAやOCR等を利用した業務効率化支援も堅調に推移している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・量販関係の受注は若干減少しているが、カタログ販売や通販の受注はやや増加しており、全体では例年どおりの受注を維持している。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスのワクチン接種者数の増加によって景気が回復すると思っていたが、新型コロナウイルスの変異株による急激な感染拡大で、景気は良くない。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスへの大きな影響はないが、今後の脱炭素への動きに影響が出るため、状況を注視している部分もある。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は堅調に推移している。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料素材関係の受注は堅調に推移している。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は3か月前とほぼ同水準である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・直近までは回復基調にあったものの、4度目の緊急事態宣言の発出、新型コロナウイルスの社内感染者の発生などが、工場の稼働や生産体制に影響を及ぼす可能性がある。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・電子商取引関係の荷動きは順調であるが、個人の荷物の動きが悪くなっている。
		輸送業（総務・人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスをきっかけに落ち込んだ受注に回復の兆しがないため、景気は変化していない。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・客の利用は計画どおりであり、今後も、利用が大幅に上振れすることは期待できないが、計画どおりには推移しそうである。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注量や販売量が上向かない。
		農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・元気の良かった量販店も下火になってしまい、全体的に下降傾向にある。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・仕事の全体量は技術者の稼働状況に応じて、調整が必要な状態で好況が継続しているが、資材価格は10～15%の上昇基調にある。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・客によっては回復しているが、新型コロナウイルスの影響は続いており、全体的には伸び悩んでいる。
	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が進むにつれ、取引先の売上に影響が出始めている。	
	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの国内生産は、新型車の販売不振や半導体不足により、当初計画の8割程度まで減少している。このため、系列の自動車部品メーカーの受注や工場の操業は低水準となっている。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数は前月と比べ、約5%程度落ち込んでいる。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コピーサービス業（管理担当）	取引先の様子	・出勤を減らすテレワーク等により需要が激減している。
	×	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・大雨による災害防止、海外から輸入する部品の納期のひっ迫に、輸出元の新型コロナウイルス禍による物流の混乱が重なり、生産の臨時休止が発生しており、受注量や生産量が大幅に減少している。
雇用 関連  (中国)		人材派遣会社（経営戦略担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルス特需の影響もあり、企業の採用意欲が回復している。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	周辺企業の様子	・保育士、幼稚園教員、小学校教員など福祉・教育系の採用活動が本格化してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は余りなく、採用意欲も高い。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と変わらず、求人数は前年を上回っている。求人の傾向としては、正規雇用で採用する企業もあるが、人材派遣を利用する企業も増加している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・景気は一部の業種を除き、回復傾向にあったが、緊急事態宣言の発出で状況が変わりつつある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・個人消費が堅調で、景気は緩やかに持ち直している状況である。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の第5波の影響で、若干弱含んでいるが、求人数は前年の反動で増加し、優秀な人材の採用意欲も高くなっている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、生活関連サービス業・娯楽業で、理美容やクリーニング業、カラオケ店やパチンコ店からの求人がなくなり、前年同月比で5割の減少となったのが目立っている。求人数は全体では横ばいとなっている。
		職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・令和3年6月の新規求人数は前年から5.9%増加している。主な産業別では、製造業が15.8%増加、運輸業・郵便業が39.6%増加、卸売業・小売業が6.8%増加、医療、福祉が14.0%増加し、建設業が6.8%減少、宿泊業、飲食サービス業が19.4%減少となっている。また、令和3年7月末現在の令和4年3月新規高等学校卒業予定者を対象とした求人数は前年同月比で4.7%増加しているが、前々年の同月と比べると、23.6%の減少となっている。
		職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新規求人件数は、製造業が前年から24.5%増加したものの、サービス業は43.3%減少しており、全体では25.3%の減少となっている。前年のサービス業では、Go To Travelキャンペーン関連の臨時雇用求人があったが、今年はないため、大幅に落ち込んでいる。逆に業績が回復している製造業では、求人数が増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・求人数自体は増加傾向にあるものの、いざ採用になるとかなりシビアとなっており、選考ハードルが高くなっている。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	求職者数の動き	・新型コロナウイルス禍で、やむを得ず離職した人が、次の正社員の仕事が決まるまでアルバイトの仕事を探したり、副業やダブルワークを希望したりする求職が増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・時期的なものと思われるが、企業の求人の動きが少ない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・長引く新型コロナウイルスの影響で、景気は良くない。先行きが不透明な部分があることから、新卒採用を中止する企業も一定数あるが、全体的にはその割合は少ない。こうした状況下でも採用予定数を前年並みとする企業が多い理由として、将来を見据えた組織の存続と企業の活性化、年齢などの人員構成の適正化が挙げられる。
		その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの変異株の拡大が、飲食・サービス業を中心に悪影響を及ぼしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	人材派遣会社 (支社長)	採用者数の動き	・求人数や求職者数は新型コロナウイルス流行前の水準に戻ったが、採用数は依然として、低水準で推移している。企業は採用に、求職者は就職に慎重になっている。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)		-	-	-
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、巣籠り消費が再び増加しており、その恩恵を受けている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されたことによる買い込み需要の増加がみられる。
		スーパー（財務 担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用されたことにより、外食や大型ショッピングセンターから地域のスーパーマーケットに客が流れてきている。
		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・気温に恵まれていることが影響しているためか、前月に引き続き売上高は堅調に推移している。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・来客数は前年同月比で減少傾向にあり、大変苦しい状況である。また、当地域ではまん延防止等重点措置が適用されており、客の滞在時間も減少している。
		一般小売店 [酒]（販売担 当）	販売量の動き	・飲食店が時短営業や休業をするなかで、アルコール飲料の販売数が減少している。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・当地域にまん延防止等重点措置が適用されたことにより、来客数が前年比5%減少した。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・天候や気温等の要因もあるが、新型コロナウイルスの感染が再拡大することに比例して業績も悪化してきている。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・当地域は、まん延防止等重点措置が適用されたため来客数が減少傾向にある。
		乗用車販売業 (営業担当)	販売量の動き	・新車の契約をしても、半導体不足と新型コロナウイルスの影響で生産がストップしており、売上につながらない。
		乗用車販売店 (役員)	来客数の動き	・新型車の発売はあるが、来客数や販売台数に大きな変化は感じない。
		旅行代理店（営 業担当）	お客様の様子	・当地域は、まん延防止等重点措置が適用され、客の動きが停止している。来客数は少なく、法人の新規受注件数も減少傾向にある。
		商店街（事務局 長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の脅威に対して、政府や行政は大局的な判断ができておらず、小出しの場当たりの対応に終始していることから、いつまでも感染の収束には程遠い状態である。また、それらに振り回され続けている国民の生活や経済は今後が見通せない。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の終息が全く見通せず、業種によっては影響が数年後も続くと思う。
		一般小売店[生 花]（経営者）	販売量の動き	・ネットや法人向けの注文は堅調に推移しているが、まん延防止等重点措置が適用されたことにより、来客数は減少し、店頭売上は落ち込んでいる。
		百貨店（営業管 理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により、お盆は帰省客が少なく、更にまん延防止等重点措置が適用されたことにより来客数が減少した。
		コンビニ（商品 担当）	お客様の様子	・夏のイベントが軒並み中止となっており、販売したチケットのキャンセルや返金等の作業に追われ疲弊している。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・季節商材以外の動きが鈍い。また、商品によっては納期未定状態が続いているものもある。
		家電量販店（副 店長）	販売量の動き	・天候の悪い日が多く、季節家電や白物家電商品の売上の落ち込みが大きい。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・ガソリンや軽油の値上がりや長雨による野菜の高値、地方での新型コロナウイルスの感染再拡大など、景気が悪くなる要因が多くなっている。	
	通信会社（営業 部長）	来客数の動き	・客が不要不急の来店を控える傾向にある。	
	通信会社（営業 担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、市場が鈍化している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルス変異株のまん延により来客数が減少している。ネット経由の利用者数は増加しているが、来場者による売上高の減少分をカバーできるまでには及ばず、全体的に減少傾向にある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・当地域でまん延防止等重点措置が適用されたことにより、更に客の外出自粛傾向が強まった。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の外出自粛で来客数が減少している。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・商談や打合せに来る客が激減している。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス変異株のまん延により、新規感染者数が急増しており、客が外に出てこない。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	来客数の動き	・東京オリンピックの開催と長雨の影響で、来客数が大きく落ち込んだ。
	×	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの第5波に加え、東京オリンピック、長雨と客の入店に影響する事象が大きく、売上は非常に悪い。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大による近隣事業所の休業や、お盆時期の長雨等の影響により売上は激減した。天候が回復した後も、客の行動自粛により売上回復には至っていない。
	×	衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用により、来客数と売上が前年を下回る水準で推移しており、店舗の撤退等も考慮しなければならない状況となっている。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・帰省客は少なく、土産物屋や飲食店は稼ぎ時にもかかわらず閑散としている。加えて、新型コロナウイルスの変異株のまん延により、来客数は激減している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍による所得の減少や外出自粛により、外食需要が減少している。
	×	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用に伴い、宿泊施設でも酒類提供が制限されたことにより、大きな打撃を受けている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再度増加しており、客の乗車率が悪くなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・当地域はまん延防止等重点措置が適用され、時短営業か休業している店が多く、飲みに出る人もほとんどいなくなっている。新型コロナウイルスの感染が再拡大しているため、遍路客も来ておらず、引き続きの厳しい状況である。
	×	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が急激に増え、当県独自の警戒レベルが上昇したことにより、経済活動が明らかに衰退している。
	×	観光遊園地（職員）	来客数の動き	・当県独自の警戒レベルが引き上げられ、まん延防止等重点措置も適用された。時短要請や酒類の終日提供不可などの措置により、飲食に訪れる客や商店街への買物客が減少している。
企業 動向 関連 (四国)		-	-	-
		農林水産業（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスや長雨の影響により来客数や売上高は前年を下回っている。また、夏場は生鮮品の入荷が少ない時期であり、更に軟弱野菜を中心に例年と比べ少ない入荷となっている。
		木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており調達資材の安定入荷は不透明な状態であるが、受注量は回復している。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が回復傾向にある。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・猛暑が続いたお盆休み前は、店頭での売上が活発であったが、8月半ばからは天候不順や豪雨に加え、緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置の適用地域の拡大により急速に市況が悪化している。小売店や商業施設への人出が激減し、多くの小売店から仕入れを控えているという声も聞こえる。
		化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多となっており、首都圏だけでなく地方でも増加している状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国の経済対策により、市場マインドは上向きつつあるが、地域的なばらつきが大きく、全体として本格的な景気回復には至っていない。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・令和3年度の公共事業は順調に発注されてきており、業界の景況は悪くない。事業活動においては、リモート会議や感染対策を講じることで、新型コロナウイルスによる影響を軽減できているものの、親睦会や交流活動、対面の研修会や講習会、宴会や外食も自粛されていることから、総合的な景況感は良くもなく悪くもなくというところである。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官民共に受注が低調である。	
		通信業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が再拡大してきており、先行きは不透明であるが、受注等に具体的な影響が出ているような状況ではない。	
		税理士事務所	取引先の様子	・当県の新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、時短営業等による売上の減少が想定される。	
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・ワクチンを保管する保冷库等の一過性の特需による注文が落ち着いた。	
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・当地域でまん延防止等重点措置が適用されたことにより、移動制限や行動自粛に一段と拍車がかかった状態となっている。従前より8月はお盆休み等の休日が多く閑散期となるが、前年に引き続き新型コロナウイルスの感染再拡大が消費者の購買意欲の低下として作用し、一般消費財を中心とした貨物の取扱物量も著しく減少していることから、景気回復は実感できない。	
		輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・工業製品の輸出は変わらず好調であるが、紙製品の輸出入の減少が大きくなっており、全体的な売上高は減少に転じている。	
		通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・前年同時期と比べると売上高は少し改善しているが、3か月前と比べると悪化している。	
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染が、これまでにない規模で再拡大しており、当県独自の非常事態へのステージの引き上げ等、消費者動向は極めて鈍化している。	
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、一部の客の販売促進広告が急きょ中止になった。	
		x	輸送業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、売上が非常に落ち込んでいる。
	雇用関連	-	-	-	-
(四国)		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・当県ではまん延防止等重点措置が適用され、飲食店への時短要請もあり、景気回復には遠い状況である。一方で、県外観光客の人流は増加傾向にあり、宿泊施設は予約が一杯という声も聞いている。ワクチン接種の普及により新型コロナウイルスに対する危機感が薄れ人流が増加したものと予想される。	
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・求人数は大きく変わらず、低水準のまま推移している状況である。サービス業界については、依然として厳しい状況が続いている。	
		職業安定所（求人開発）	採用者数の動き	・求人数については、新規求人数が3か月前と比べてやや増加している。新規求人倍率も若干増加しており、景気が悪化の一途をたどっているとはいえないと判断している。	
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣勤務を希望する求職者が減少しており、求人と求職者のミスマッチが多くみられ就業に結び付いていない。このため、求人募集に係る経費の回収も難しく、景気が悪くなっている。	
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・高卒求人について、前年度に比べ求人数を絞る傾向にあり、企業の採用計画にも新型コロナウイルスの影響が見受けられる。	
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、当県もまん延防止等重点措置が適用され、飲食店では時短営業を余儀なくされている。学生の就職状況も前年同時期と比べて改善されているとはいえず、景気はコロナ禍以前の水準まで回復していない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、あらゆる広告の案件が延期やキャンセルになっている。

### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (九州)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年の落ち込み分を取り戻すほどの勢いはないが、客単価及び来客数共に前年を上回る状況が続いている。緊急事態宣言のなか、お弁当や酒類の伸びが目立つ。しかし、外出自粛の影響が、週末の来客数減少が足を引っ張っている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・8月は長雨の影響で売上が落ち込んでいる。しかし、前年の5～8月は、特別定額給付金の給付が数字を押し上げており、今期はその分が悪くなっているものの、月を追うごとに若干ずつ上がっている状況である。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・当県で感染者数が急激に増え、8月に入ると新規感染者数が3けたに増加し、人口比率からみてもインパクトが大きい。また、報道も過熱し、消費者動向が明確に悪化している。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・主要な客層である高齢者のワクチン接種が進んだため、前年度と比較しても感染を恐れたサービスキャンセルが大幅に減少している。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・5月及び8月も緊急事態宣言による飲食店への時短営業や営業自粛要請の影響で、販売量が大幅に落ちたままである。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・再度の緊急事態宣言で、外販での注文もほとんどなくなっている。店頭販売でも、専門店に立ち寄り手間を省くために、スーパーマーケットでの買物ついでに、まとめて購入している状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・全体的な動向は前月と同様であり、食品中心の消費動向に変化はない。また、衣料品や住居関連は、依然として前年の反動と現状からの回復見込みが不透明であることにも変化はない。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・8月上旬までは前年比及び前々年比について厳しい水準で推移したが、記録的豪雨に見舞われたお盆商戦が好調な結果となり、その後も前年比について比較的好調な水準で推移している。これは20日に発出された緊急事態宣言の影響と考えており、まん延防止等重点措置では、そこまで巣籠り需要が喚起されなくなっている。また、来客数減少、客単価上昇という傾向は、今年に入ってずっと続いている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・お盆期間の長雨で販売量が落ちている上、それ以降も例年ほど気温が上がらず、夏物商材の動きが悪い。また、青果物は前半物量が潤沢で安値だったところ、気温低下と長雨で驚異的な高値となっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・販売額について、前月比は多少上がっているが、前年との比較では大幅に下がっている。
		乗用車販売店（代表）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、余り景気の良い話は聞かない。
		住関連専門店（経営者）	お客様の様子	・月初は下見の客が多かったが、後半成約決定が増え、店舗での売上が伸びている。一方で、都市部でのキャンペーンや新規事業は低調である。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	お客様の様子	・前月と比較すると当県も新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、店頭へ来店する固定客は若干減少しており、また、新規の客は見受けられない。しかし、既存の客の購入があるため、売上は前年と同程度の水準はある。
	スナック（経営者）	それ以外	・8月は新型コロナウイルスによる営業自粛で売上はゼロである。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・2回目のワクチン接種が完了した客が多くなっているが、まだまだ安心して動ける状態ではない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	それ以外	・緊急事態宣言発出で、タクシー業界にとって、かなりの打撃である。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用下であるが、スーパーマーケットやデパートでの来客数の動きは変わっていない。
		通信会社（統括者）	販売量の動き	・8月の携帯電話の販売台数は、前年並みの台数を見込んでいる。しかし、店舗開催での教室等の出席者は、新型コロナウイルスの影響によりやや低調である。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・親会社のファシリティーサービスを担っており、サービス先の景気が上向きにならなければ好転の兆しはみられない。経費削減のありを受け、一部サービス停止の検討もあり、新型コロナウイルスの終息がなければ、景気上昇は見込めない。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大で、まん延防止等重点措置が適用されており、休業要請で人流が抑制されているが、全体的な景気としては、さほど変化はない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・高齢者の多い地方の商店街では、2回目のワクチン接種が完了し消費も回復するかと期待していたが、再度の緊急事態宣言で来店客は少なく、お盆期間中の大雨も大きなマイナス要因になっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が強く出ている。景気が若干良くなりかけていた3か月前と比較すると、緊急事態宣言発出で人の動きがなく、悪い状況になっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・8月末からまん延防止等重点措置が適用され、飲食店は午後から夜は休業、また完全休業の店も目立ってきている。人の通りもなくなり、一般小売店や物販関係は非常に厳しい状況にある。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・夏休みや帰省の時期であるが、客は少なく、店内を見て回らずに目的のものを短時間で購入し、帰宅する印象が強い。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出による外出自粛や混雑回避、また、県外との往来自粛で土日を含め、各時間帯共に来客数が減少している。職域接種が進んでいるが、マスク着用での目的買いが多く、店頭での来客数、滞留時間共に減少している。加えて、ギフトを含めオンラインでの受注も減少している。一方、地方サテライトショップやギフトショップへの来店が増え地元での購買志向が強まっている。周辺商店街では、旅行者等人通りも増えているが、感染拡大への不安は高まっている。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全店の売上前年比は、5月128.5%、8月92.0%となっており、前々年比では、5月70.3%、8月68.8%でやや悪くなっている。全店共に衣料品関係が落ち込んでおり、食料品がけん引している状況である。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・県内でも、新型コロナウイルスの新規感染者数が、過去最多更新を繰り返している厳しい状況で、9月12日までまん延防止等重点措置が適用される。来客数は大幅に減少し、売場からも来店を促す連絡もできない。多くの客は、新型コロナウイルス感染が落ち着いてから来店することになると予想される。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客のにぎわいが少ない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出及びまん延防止等重点措置により、必然的に人流が減少している。生活防衛意識も高まり、消費支出も減少傾向になっている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・コロナ禍第5波に加え、前例にない8月の長雨が来客数のマイナスに大きく響いている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・集中豪雨と新型コロナウイルスにより、人の動きは大幅に減少している。来客数は、前年比92%、前々年比81%と2年連続で減少している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候要因も大きいですが、8月に入り来客数が減少傾向である。東京オリンピック需要での来客数増加を期待したが、大きな影響はない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が、固定傾向になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（エリア担当・店長）	それ以外	・7月の終わりから8月にかけての長雨の影響で、来客数及び買上点数、売上等が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大や外出自粛要請により、極端に来街数及び来店客数が減少している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・エアコンディショナー等季節商材コーナーへの来客が少なく、動きが非常に悪い。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車販売台数が減少している。メーカーが半導体不足とコロナ禍により、大幅な新車減産を行っている影響が大きい。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言に加え、悪天候が続き、売上が厳しい。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・東京オリンピック需要もなく、また、新型コロナウイルスは感染拡大しており、景気が回復しそうな兆しがみえない。
		旅行代理店（職員）	販売量の動き	・既に予約があった旅行が、この1か月で大幅に取消された結果、販売額が3か月前よりも下回っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・7月にかかなりの勢いで景気回復傾向にあったが、今月は急激な感染者数増加による緊急事態宣言で人出も減り、夜の繁華街もかなりの店舗が深夜まで営業しているにもかかわらず、閑散としている。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線の新規販売件数が、減少している。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、人の動きが少なくなったことで、来客数が減っている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・ワクチン接種が進んでいる比較的高齢の来場者は、順調に推移しているが、まん延防止等重点措置が適用されてから、企業コンペ等のキャンセルが出始めている。
		競馬場（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言や豪雨の影響により、来客数が減っている。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置が適用され、全く客の動きがない。2～3か月前より一層落ち込んでおり、美容業界は最悪な状態が継続している。
		美容室（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、客は慎重になり、外出自粛をしているため、来客数が減少している。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、新規の客が動いていない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に増加し、来場者数の減少傾向が続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・8月17日以降、新型コロナウイルスの感染が急拡大している。百貨店でクラスターが発生したため、来街者数、来客数が大幅に減少し、市の中心部へ買物に出掛ける人はなく、販売量が減っている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・当地区では、ワクチン接種が2回終わり、幾らか安心してはいるが、感染拡大によるまん延防止等重点措置で不要不急の外出自粛が続いており、商店街の客はまばらで危惧している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と天候不順で来街者及び来客数の減少が続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・第5波の発生や今月中旬の大雨、また、まん延防止等重点措置の適用等悪条件が重なり、来客数は当然減少している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・コロナ禍による緊急事態宣言で、来客数が激減している。
	×	一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・青果物の相場は、今日までの長雨により、全国的に野菜の品質が落ち、また、生産量が下がっているため高騰している。ただでさえ、夏の売れない食欲がない時期に、追い打ちを掛けられた状態で、かなり厳しい状況にある。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・緊急事態宣言発出から、極端に悪くなっている。24時間営業の居酒屋も出ており、全般的に追い詰められている状況である。魚の入荷が少なく、そのことでもきつい状態であるが、加えて、売上が悪い状況であるにもかかわらず、魚を高額で購入しなければいけないため、残れば損になる深刻な状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔食料雑貨〕(店員)	販売量の動き	・コロナ禍で飲食店の休業が相次ぎ、売上が減少している。大雨被害の影響も続いている。
	×	一般小売店〔生花〕(経営者)	お客様の様子	・8月はお盆の需要のために準備した花があったが、ひどい雨が続き、曇参りもほぼできず、完全に当てが外れてしまった。客の景気も良くないため、今後の売上が心配である。
	×	百貨店(企画担当)	来客数の動き	・県下全域における急激な新型コロナウイルスの感染拡大で、来客数が大幅に減少している。
	×	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、テレワーク化の定着による分散出社もあり、来客数が前年比6%程度の落ち込みである。
	×	コンビニ(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が拡大している。企業の時間差出勤により、来客数が減少している。
	×	衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、外出自粛が多くなり、おしゃれマインドも低下し、来客数が大幅に減少している。
	×	衣料品専門店(店員)	来客数の動き	・緊急事態宣言で再び来客数が激減し、売上は前年比約50%となっている。
	×	衣料品専門店(取締役)	お客様の様子	・5月は暖かく陽気になり、長い自粛の中だるみも現れ、人出もほどほどであったため、来店客は例年より少ないながらもぼちぼちあった。しかし、今月は前例がないほど来店客がない月で、大変な売上の損失になっている。
	×	家電量販店(総務担当)	販売量の動き	・長雨による気温の低下や新型コロナウイルスの感染拡大により、来客数が前年比80%を割り込み、エアコンディショナーや冷蔵庫等の夏物商材が大苦戦している。新型コロナウイルス特需の反動も加わり、ダブルパンチの状態である。
	×	住関連専門店(従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる医療現場のひっ迫が深刻化してきたことを受け、多くが不要不急の外出を控えていることが商店街の様子から分かる。また、足早に歩いており、寄り道で来店することも減少し、今月の広告費用対効果も極めて低くなっている。
	×	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(統括者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出され、来場が大幅に落ち込んでいる。
	×	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・東京オリンピックが開催されると急激に忙しくなったが、感染拡大により発出されたまん延防止等重点措置で人通りがなくなり、来店客もなく最悪の状態になっている。
	×	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・当県では、新型コロナウイルス新規感染者数が増加しており、予約取消しが増えていたところに8月20日から時短営業要請が出て、8月はほとんど営業にならない深刻な状態になっている。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕(経理)	販売量の動き	・感染拡大による、まん延防止等重点措置で、飲食店への休業要請、酒類提供の禁止の対応があり、酒類販売量は減少し悪くなっている。
	×	観光型ホテル(専務)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が増え、県独自の宿泊割引が停止されている。まん延防止等重点措置は県内の人口が多い市にしか出ていないが、当地にも大きい打撃である。長雨が続いたこともあり、この夏も最悪な状況の上に、新型コロナウイルス収束の気配が感じられず、今後もこの状態が続くのではと懸念している。
	×	観光型ホテル(総務)	販売量の動き	・運営するホテルの宿泊予約が激減している。3か月前は新型コロナウイルスの感染拡大第4波の影響を受けたが、今回の第5波の方が警戒感が強い。宴会場の予約状況でも、既に忘年会、新年会シーズンの予約取消しや延期が入っており、ワクチン接種の進捗効果もみられない状況である。
	×	都市型ホテル(販売担当)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置に続いて緊急事態宣言の発出があり、回復傾向がみられない。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	来客数の動き	・地方独自のまん延防止等重点措置の要請があり、大きく影響を受けている。
	x	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築材料・製品単価が上昇している。また、生活必需品の単価も上昇している。
企業動向関連 (九州)		-	-	-
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・曇天続きのため、市況は上がっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体の動きが徐々に良くなっていることを聞いているが、その状況からこの業種においても、徐々に上向きになっている。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・車関係の引き合いが依然強い。しかし、半導体不足の影響で、部品購入の納期が読めなくなっており、現在の大きな問題である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関連事業が、引き続き好調である。
		新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック関連で、広告の動きがある。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月の販売の動きは、月初めはおおむね需要もあり、量販店を中心に順調であったが、お盆明けは、都心での緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対策の影響で、一気に落ち込んでいる。当地でもまん延防止等重点措置で、外食向けも厳しくなり、今まで何とか計画をクリアしていたが、今月は計画を下回りそうである。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材で端境期のため、売上、製造共に減少する時期である。
		金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・引き合いは増加しているが、受注に結び付かない。半導体不足の影響で市場が止まった状態となっており、建築設備の現場まで影響を受けている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月との受注状況には大きな変わりはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き続き受注が好調である。
		建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・今月は、お盆休みを挟み、発注が少なくなっている。現在、技術者は手持ち工事が完了し待機している状態で、早期の発注ができるよう来月に期待をしたい。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・特に大きな変化はない。コロナ禍で生活様式が変わり健康食品の通信販売は高止まりのまま推移している。一方、化粧品は国内外共に低調のままである。
		通信業（経理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスは新規感染者数の増減を繰り返しており、根本的な解決に至っていない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・夏休みシーズンで県域をまたいだ人の出入りが増え、新型コロナウイルスの感染拡大が加速した。飲食店に対する営業自粛要請は緩和されず、今後の資金繰りを懸念する声が強まっている。家電ではテレビやエアコンディショナーの売行きが好調である。
		金融業（営業）	取引先の様子	・3か月前からの飲食業界や小売店、また、観光業等に対する長引く新型コロナウイルスのマイナスの影響は極めて大きく、状況は変わっていない。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では、自動車や半導体関連を中心に回復基調にある。また、巣籠り需要を受けて物流倉庫や食品スーパーマーケット等は堅調であるが、一方で、飲食店やホテル等のサービス業では、新型コロナウイルスの感染再拡大と緊急事態宣言の発出もあり、依然として客足が戻らず厳しい状況が続いている。以上から景気は、業種によりばらつきがあるが、総合的には3か月前と同様に悪い状況である。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・前月、前々月、前々年比で30%を超える減収となっており、景気回復への足取りが重い。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・客からの業務オーダーの数や予算規模、競合プレゼンテーションの数等で、特に変化がない。
		経営コンサルタント（社員）	それ以外	・緊急事態宣言発出により、今月の例会は中止となり、周囲の状況は確認できないが、前月と変わらないと予想される。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先の業況では、大きな変化はない。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出されたが、各企業も大きな動きはなく営業活動を行い、設備投資に関しても問題なく計画されている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、飲食店向けの売上が低調である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上では、7月まで前年より良かったが、8月は、前年より悪くなっている。また、商社関係も上向きにはならず、受注関係も低調が継続し、今後経営は難しく、厳しい状態が続くと懸念される。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	受注量や販売量の動き	・今まで新型コロナウイルスの感染が拡大しても順調だった生産が、突然ダウンとなり、また、相場も変動が激しくなり、前月までの流れがうそのように止まっている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が発出され、また、まん延防止等重点措置による外出自粛により飲食店向けの商材が落ち込んでいる。加えて、お盆前後の大雨で農作物が不作になり、段ボール原紙の出荷減少等様々なマイナス要因がある。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が物量に影響を及ぼしている。加えて、一時的ではあるが、豪雨も影響した。極端に悪くはないが、東京オリンピック前の状況と比較すると陰りが生じている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・百貨店の売上は伸び悩んでいるが、スーパーマーケットやコンビニエンスストア等の売上は持ち直しの動きがみられ、住宅や家電の販売も持ち直してきている。一方、新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増加しているため、労働需給や雇用者所得の動きは弱い。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出され、飲食業のみならず、小売業全体も時短営業を強いられ、売上が低迷している。また、かなりの長期化により、経営者のマインドも下がっていることが取引先から見受けられる。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・4度目の緊急事態宣言で、飲食関係の落ち込みが激しい。関連取引先も同様に影響を受けている。
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・当初予算計上されていた市町村の調査や計画策定の委託業務の発注が滞っているため、受注が少ない状況にある。新型コロナウイルス対策のため、担当課がワクチン接種に追われていたが、8月に入り、感染対策費用の予算が必要になり、執行が停止しているものもある。
	×	繊維工業（営業担当）	それ以外	・取引先にも新型コロナウイルス感染者が発生し、在宅勤務や時差出勤が多くなり、スムーズに仕事できていないため、受注も少なくなっている。
	×	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・8月は、今年最悪である。新型コロナウイルスの感染拡大の上に、猛暑となり、また水害もあり、天候により非常に厳しい状況となった月である。
雇用 関連 (九州)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・注文数が約3割増しになっている。新規追加注文や後任の注文も以前と同じ割合で増えている。求職者についても登録者や応募者が増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・夏の繁忙期直前に緊急事態宣言が解除されたため、一気に求人需要が高まった。しかし、すぐに緊急事態宣言が発出され、冷水を掛けられ熱が冷めた状態になっている。9月12日まで宣言が継続することは死活問題である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・コロナ禍で緊急事態宣言が発出されており、影響を受ける業種と受けない業種で差がある点には気になるが、緊急事態宣言が解除されると一気に経済活動が再開される。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は4か月連続で、前年比10%以上の増加となっている。新規求人数も2か月連続で10%以上増加している。さらに、有効求人倍率が、4か月連続で前年比を上回る状況になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・直近で発生している新しい案件数はほとんどなく、未処理の案件が求人数として残っているだけの状況が続いている。また、新規の問合せでは専門職種が多く、新しい雇用を生み出しているわけではない。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言にも慣れてしまっており、3か月前との比較は低いレベルで変わらない。また、新聞広告の量も低位安定という状況である。例年、お盆に求人広告特集を行っているが、前々年から前年にかけて大きく減少している。ただ、減少幅は大きくなく、さすがに下げ止まりではないかと考えられる。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・2022年卒業の求人は底堅さを感じられ、企業の採用活動も活発に動いている。内定報告者の数も前月よりも増えており、また、2023年卒業採用に向けたインターンシップの実施を計画している企業も多い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・緊急事態宣言発出によるキャンセルや延期が出ている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・県内ではまん延防止等重点措置、隣県では緊急事態宣言が発出され、移動の制限や飲食店の酒類提供の自粛や休業要請等があり、人流の抑制に合わせて経済活動も鈍化しているため、以前と比べると景気は悪くなっている。
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・全体的な採用選考は前倒しになっていたため、就職活動が解禁されてから初めは、内定を持っている学生が例年より多かったが、新型コロナウイルスの第4波・第5波の発生で、企業の動きがやや鈍り、前年より厳しい状況である。ただし、一部に積極採用をしている企業があり、うまくマッチングできれば少し改善できると考える。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス変異株の拡大による再度の時短営業要請により、小売業や飲食業、宿泊業では、店を開けていても、利用者や収益がないため、時短営業でなく、丸1日休業が前回よりも多くなっている。

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		-	-	-
(沖縄)		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言のなかで感染対策が常識になっているため、客は長居せずにサッサと買物をしていくのでレジの進み具合が早く、来客数も増加している。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・コロナ禍のなか、縮小傾向だった旧盆需要で買上点数と客単価は微増するも来客数は伸び悩んでいる。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染第5波は感染者が今までにないくらい多くて、その影響で来客数が減少している。そのため、客単価は上昇しているも売上はマイナスの状況にある。
		住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・不動産売買件数、賃貸成約件数共に変化はないが、客の物件内覧は減少傾向にある。
		コンビニ（副店長）	来客数の動き	・4月12日の沖縄県対象のまん延防止等重点措置から始まり、緊急事態宣言が延長につく延長で来月12日までとなっており、特に深夜帯の売上が激減して厳しい状況が4月以降続いている。2回目のワクチン接種者も周りに増えてきているが、日々の感染者数も増えてきている状況である。事業所兼観光立地の店舗は、かなり厳しい状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて販売数が1割減となっている。新型コロナウイルスの感染拡大により対面販売を避けWebでの購入に移っていることも原因の1つと考えられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・建築相談の来客数が減少傾向にある。特に投資案件に関しては顕著である。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・周知のとおり、新型コロナウイルスの影響で全体的に落ち込んでおり、来客数も減っている。感染状況が改善されない限りはまだまだ厳しい状況が続くとみている。
	×	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減らない。ワクチン接種も追い付いていない。新型コロナウイルス対策に、ロックダウンも考えるべきである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・緊急事態宣言下で平日は一部売場の休業もあり、集客もかけられない状態が続く、厳しい経営となっている。
	x	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大のため、客足が遠のいている。
	x	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・人口比最悪の新型コロナウイルス新規感染者数を日に日に更新しているなか、補助金の遅れも加わり、耐え切れずに通常営業に戻す飲食店がどんどん増えている。開けている店舗は観光客や若者でにぎわっており、自店舗は矛盾を感じながら休業を続けて耐えている現状がある。緊急事態宣言が解除になっても、まん延防止等重点措置等しばらくは規制が続くはずであり、その間は、居酒屋では損益分岐点を上回る売上は不可能である。
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大が収まらず緊急事態宣言の延長が繰り返され、そのたびに宿泊や飲食の予約が繰り返される。秋の重要客である修学旅行が9月は全てキャンセルになっている。
	x	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの5月の販売室数は、前年の緊急事態宣言に伴う1か月間の休館の影響から、前年比約1500室増とプラスなのに対し、8月の販売室数は、東京と沖縄の緊急事態宣言の影響もあり、前年比約600室減とマイナスに転じている。
	x	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・県民は自粛中だが観光客は遊びに来る。経済的には良いことかもしれないが、せめて緊急事態宣言が解除されてからと願いたい。県民が通常の生活に戻ってくれないと出張も旅行も自粛したままでお手上げ状態である。
企業 動向 関連  (沖縄)	-	-	-	-
	-	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・ホテル等業務関連への売上は厳しいなか、お盆向けや一般食品の販売は引き続き回復している。
	-	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・民間工事の見積依頼及び受注、出荷共に、前月から横ばいで推移している。
	-	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・3か月前の、悪くなった状況からの変動はない。緊急事態宣言の最中ではあるが、観光業関連の納品先が少しずつ増えてきているように見受けられる。
	x	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・本県の主要産業である観光業が長期にわたり低迷しており、周辺業界へも波及しつつある。 ・新規の新築の客の動きが全くない。それに、以前仮契約した申込済みの客が、新型コロナウイルスの影響で不安になり、新築が足踏み状態である。
雇用 関連  (沖縄)	-	-	-	-
	-	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人案件の減少等がある。
	-	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・長引く新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言の影響で、沖縄県内は求人活動などが制限され、求人数が思うほど増加していない。
	-	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・IT系は好調で、デザイン系は低調という状況が以前から変化していない。
	x	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・5月と比較して求人数が10%程度減少している。6月から8月は同水準で停滞を続けている。新型コロナウイルス感染拡大第5波の真ただ中において、企業の採用活動は不活性化状態である。